



村民アンケート

「大芝森林づくり実施計画」の策定を行うため、大芝高原に対する村民の意向等を把握することを目的に「大芝高原の森林に関する村民アンケート調査」を実施しました。村民アンケートの結果を記載します。

アンケート
ありがとうございました





第1章 調査

1-1 目的

南箕輪村大芝高原内の森林について、令和2年6月に策定された「大芝村有林整備基本計画」に基づき、長期的な視点による「大芝森林づくり実施計画」の策定を行うため、大芝高原に対する村民の意向等を把握することを目的に「大芝高原の森林に関する村民アンケート調査」を実施した。

1-2 調査対象

18歳以上の村民を対象とし、無作為抽出により2,500人を対象者とした(👉 巻末 p42)。

2,500人の抽出は、これまで村で実施した類似アンケート調査の実績から、回答率40%と仮定し、1,000人程度の回答を想定して決定した。

【参考：サンプリング統計と2,500通】



調査対象は、村在住の18歳以上の村民。

対象(標本数)は、式-1※1-1に従い令和5年11月10日現在の住民票に記載されている18歳以上の村民13,030人を母集団の大きさとし、アンケートの回収率を40%(過去の村の実績)と仮定してアンケート数を2,500通とすると、信頼度95%での標本誤差の許容値は3%となる。

・・・・・・・・式-1

$$n = \frac{N}{\frac{(N-1)e^2}{t^2 P(1-P)} + 1}$$

ここで、 N : 母集団の大きさ

n : 標本の大きさ

P : 母比率の予想値

e : 信頼度95%での標本誤差の許容値

t : 信頼度係数(信頼度係数(t)は、自由度とともに変化し、信頼区間95%の場合

$$1-\alpha=0.05 Z_{\alpha/2}=1.9599 \div 1.96$$

※1-1 母比率(P)は標本の大きさが等しければ予想母比率が50%であるとき標本誤差は最も大きくなるため、最も条件が厳しい母比率50%を採用。通常の誤差の最大値は5%。

1-3 調査方法

(1) 調査方法

調査票(アンケート用紙)は、南箕輪村長の調査依頼文、大芝高原の施設地図及び松くい虫被害概要を同封して、一般社団法人長野県林業コンサルタント協会南信事務所伊那分室(伊那市:以下「協会」という。)が返信用封筒を同封して郵送した。

回収は、次の2方法とした。

- ① 返信用封筒による回収
- ② インターネットを用いた村ホームページ(バーコードを依頼文に記載)から調査票を取得、返信できる電子ファイル回答

発送(施行)は令和5年12月2日とし、最終回収日は令和5年12月22日(消印有効)とした。



(2) 調査票

設問に先立ち、調査票の左上に [整理番号] を記載した。これは調査対象者を特定するものではなく、郵送回答と電子ファイル回答との重複を防止するためのものとして付した。さらに回答者の情報として年代、性別、職業の項目記載欄を設けた。

整理番号	※この番号から個人が特定されることはありません。						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">年代 (いずれかに○)</td> <td>10 代 / 20 代 / 30 代 / 40 代 / 50 代 / 60 代 / 70 代 以上</td> </tr> <tr> <td>性 別</td> <td>男性 ・ 女性 ・ 無回答 ・ その他 ()</td> </tr> <tr> <td>職 業</td> <td></td> </tr> </table>	年代 (いずれかに○)	10 代 / 20 代 / 30 代 / 40 代 / 50 代 / 60 代 / 70 代 以上	性 別	男性 ・ 女性 ・ 無回答 ・ その他 ()	職 業		
年代 (いずれかに○)	10 代 / 20 代 / 30 代 / 40 代 / 50 代 / 60 代 / 70 代 以上						
性 別	男性 ・ 女性 ・ 無回答 ・ その他 ()						
職 業							

※職業につきましては、可能な範囲でお答えください。
※大学生・専門学校生は学生とお答えください。

(3) 設問

設問は、次とした。

- 📖 大芝高原の利用について (問 1～4)
- 📖 大芝高原の松枯れについて (問 5～6)
- 📖 アカマツの活用方法について (問 7)
- 📖 大芝高原の森林に求めるものについて (問 8～10)
- 📖 意見欄 (自由意見 : 問 11)

1-4 回答数

発送の後、日本郵政株式会社 (JP) にて返送、ファックス及び電子メール返信の回答数を回収数 (回収率) とした。

回収した調査票のなかで全設問に無回答は無効とし、この無回答を除く調査票をもって有効回答数 (有効回答率) とした。

$$\text{回 収 率 (\%)} = \frac{\text{返送数 (JP 返送数 + 電子メール返信等数)}}{\text{(発送数)}} \times 100$$

$$\text{有効回答率 (\%)} = \frac{\text{回収数 (JP 返送数 + 電子メール返信数等) - 無効回答}}{\text{(発送数)}} \times 100$$

1-5 集計

回答の表記は、返送 1 件当たりの回答を「者」と表記し、複数回答及び同一設問において 1 者が複数回答 (重複回答) している場合は、総数及び表記を「回答」と統一した。

集計は、回答数に対する割合 (整数値 : 回答率は少数第 1 位) を結果として取りまとめた。

また、記述回答 (その他、自由意見) については、回答を正確に転記することとし、一部口語体を文語体に修正して記載した。

なお、回答から個人等 (公人は除く) が特定される場合は、一部原文を加筆・削除した。



第2章 調査結果

2-1 回答の結果

(1) 回答者数と有効回答率

回収数は1,022者、うち郵送回答は744者、電子ファイル回答者は278者で、回収率は40.9%であった。

無効回答はなく、有効回答率は40.9%であった（表2-1、図2-1）。

表2-1 回答者数と回答率及び有効回答率

対象 (T:者)	回答(A:者)			無回答 (T-A)	無効 (I)	回答率 (A/T:%)	有効回答率 ((A-I)/T:%)
	郵送	電子	計				
2,500	744	278	1,022	1,478	0	40.9	40.9

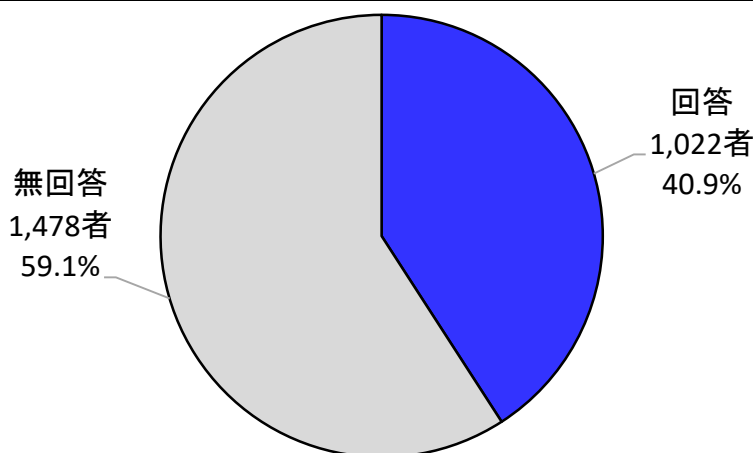


図2-1 回答（回収）率

【1,022 回答のサンプリング信頼度】



式-1 に従い令和5年11月10日現在の住民票に記載されている18歳以上の村民13,030人を母集団の大きさとして、一般的調査で用いられる信頼度95%、標本誤差の許容値5%とした場合のサンプル数は374である。

本調査の1,022回答は、2.7倍の回答数となるため、村民の意向を把握するうえで十分な回答数（信頼度）を有するものと言える。

$$n = \frac{N}{\frac{(N-1)e^2}{2tP(1-P)} + 1} \quad \dots\dots\dots \text{式-1}$$

ここで、 N : 母集団の大きさ

n : 標本の大きさ

P : 母比率の予想値

e : 信頼度95%での標本誤差の許容値

t : 信頼度係数（信頼度係数（ t ）は、自由度とともに変化し、信頼区間95%の場合
 $1-\alpha=0.05Z\alpha/2=1.9599 \div 1.96$ ）

(2) 年代

有効回答者数1,022者のうち、年代回答は1,014者、無記載が8者であった（表2-2）。回答者数の多い年代順に70代以上、50代、40代、60代、30代、20代、10代であった（図2-2）。



表 2-2 年代別回答者数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	無記載
18	58	102	170	178	164	324	1,014	8

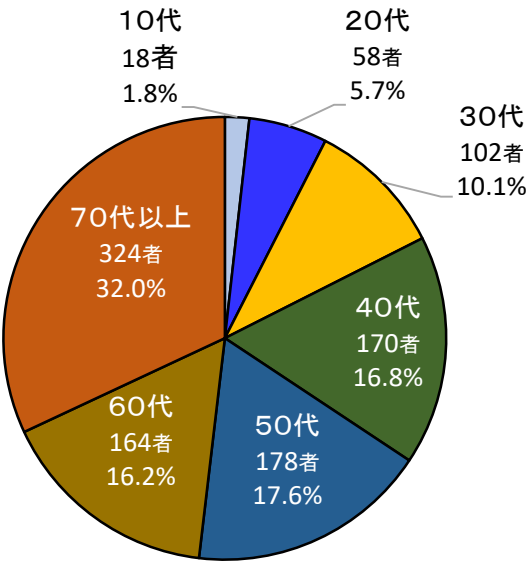


図 2-2 回答者の年代別回答割合
※少数以下第2位四捨五入により、表示割合合計値は100 とならない

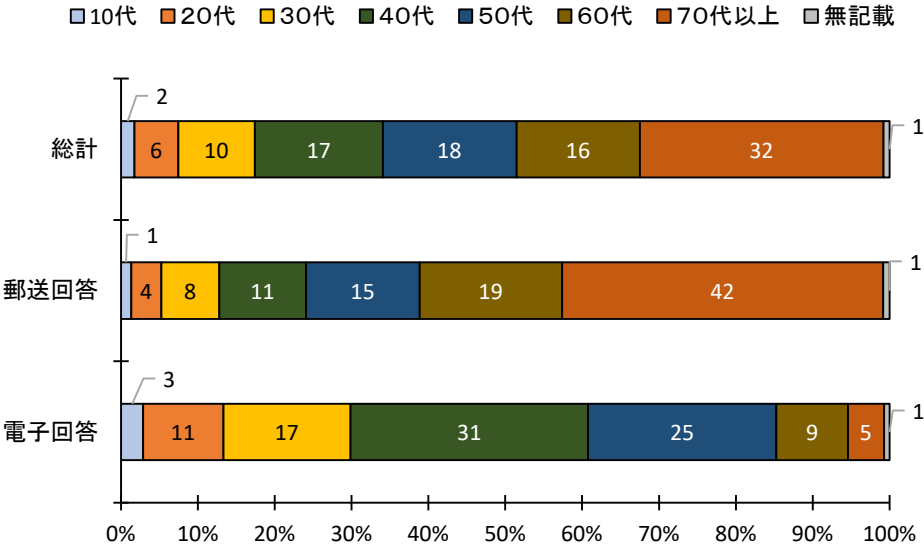


図 2-3 郵送回答 (n=744) 及び電子回答 (n=278) の年代別の割合

(3) 性別

有効回答者数 1,022 者のうち、性別回答は 1,010 者、無記載が 12 者であった (表 2-3、図 2-4)。

表 2-3 性別回答者数

男性	女性	無回答	その他	計	記載無
419	578	13	0	1,010	12

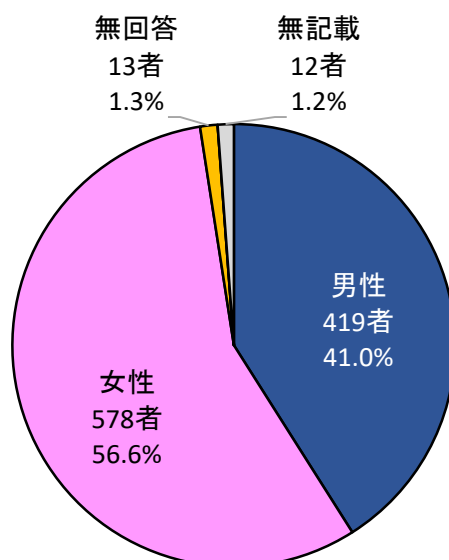


図 2-4 回答者の性別回答割合

※少数以下第2位四捨五入により、表示割合合計値は100とならない

(4) 職業

有効回答者数 1,022 者のうち、職業回答は 887 者、無回答が 135 者であった(表 2-4、図 2-5)。

職業記載回答は 105 回答で、同種等で職種を 37 区分すると、会社員が最も多く、次いで無職、主婦、パートの順であった(図 2-6)。

表 2-4 職業回答者数

回答	無回答	計
887	135	1,022

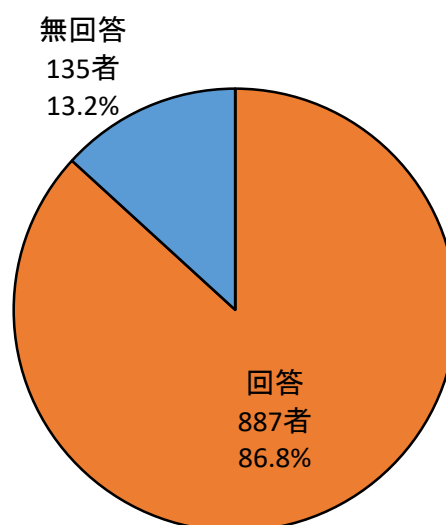


図 2-5 回答者の職業回答割合

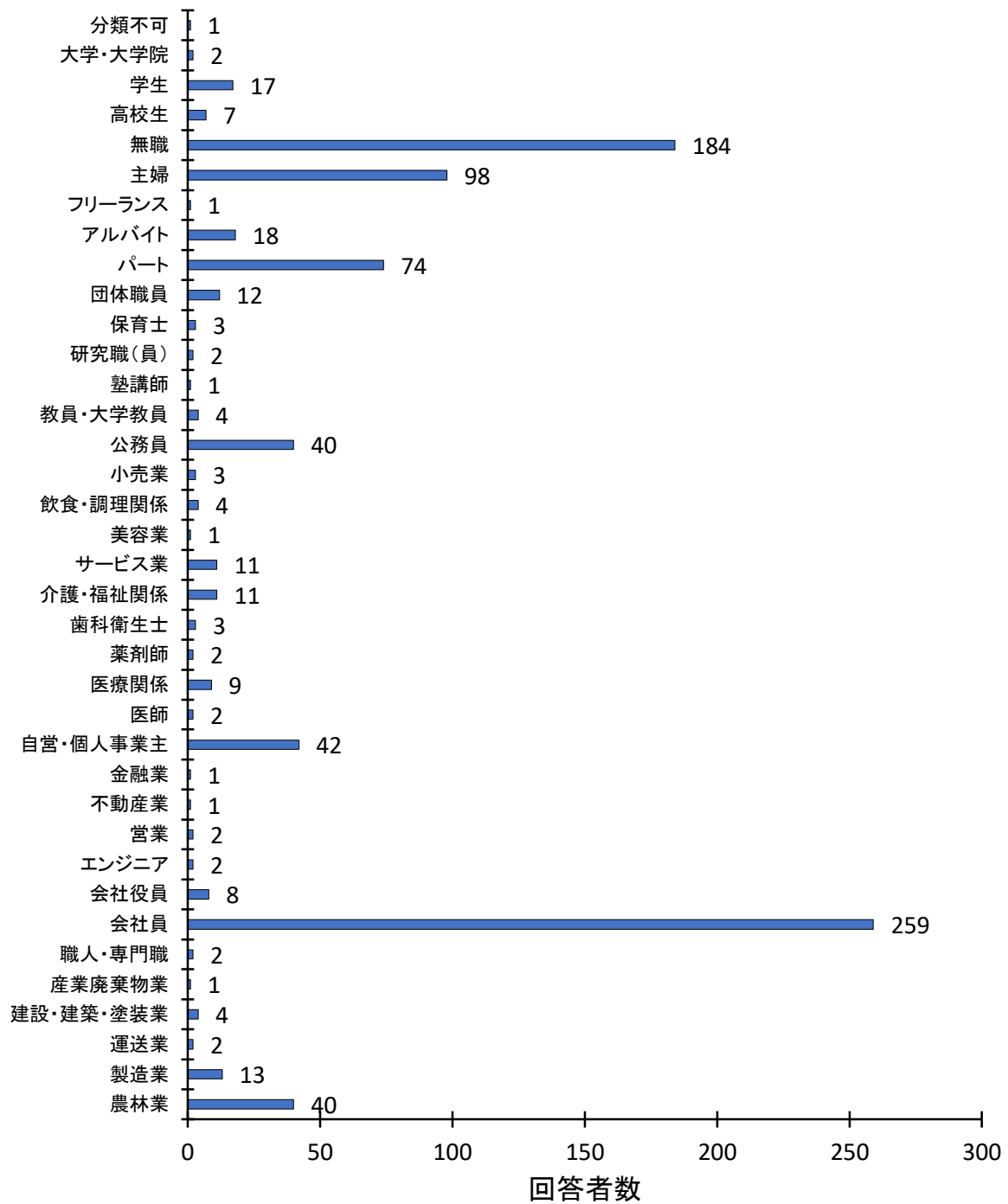


図 2-6 職業区分による回答者数



2-2 設問別結果

注：設問の回答割合は整数止表示

(1) 大芝高原の利用について

問 1

問 1 大芝高原の施設を利用されていますか。該当する選択肢に○を付してください。

※参考資料 1 「大芝高原マップ」を参考にして回答してください

- ① 大芝の湯 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ② オートキャンプ場 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ③ 屋内運動場 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ④ 屋外運動施設（野球場・陸上競技場・テニスコート） 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑤ マレットゴルフ場 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑥ アスレチック 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑦ 道の駅・味工房 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑧ 大芝湖（周辺） 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑨ 芝生広場と遊具 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない
- ⑩ 「みんなの森」セラピーロード等 毎日 / 週 1 回以上 / 月 1 回以上 / 年 1 回以上 / 利用していない

問 1 の⑩「みんなの森」セラピーロード等を 利用している方 → 問 2 へ進んでください。
利用していない方 → 問 4 へ進んでください。

回答者数は表 2-5、回答割合は図 2-7、各施設の利用割合は図 2-8、施設別の利用状況割合は図 2-9、回答数及び施設別の回答数の多かった順位は表 2-6 であった。

表 2-5 大芝高原施設別の利用状況回答者数

区分	毎日	週 1 回以上	月 1 回以上	年 1 回以上	利用していない	回答数	無回答
① 大芝の湯	1	42	128	419	414	1,004	18
② オートキャンプ場				33	948	981	41
③ 屋内運動場	1	11	7	69	895	983	39
④ 屋外運動施設		7	10	47	912	976	46
⑤ マレットゴルフ場	3	14	13	111	841	982	40
⑥ アスレチック		5	33	156	786	980	42
⑦ 道の駅・味工房		17	170	578	239	1004	18
⑧ 大芝湖(周辺)	3	31	133	434	386	987	35
⑨ 芝生広場と遊具	2	19	87	268	613	989	33
⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	7	62	97	298	532	996	26

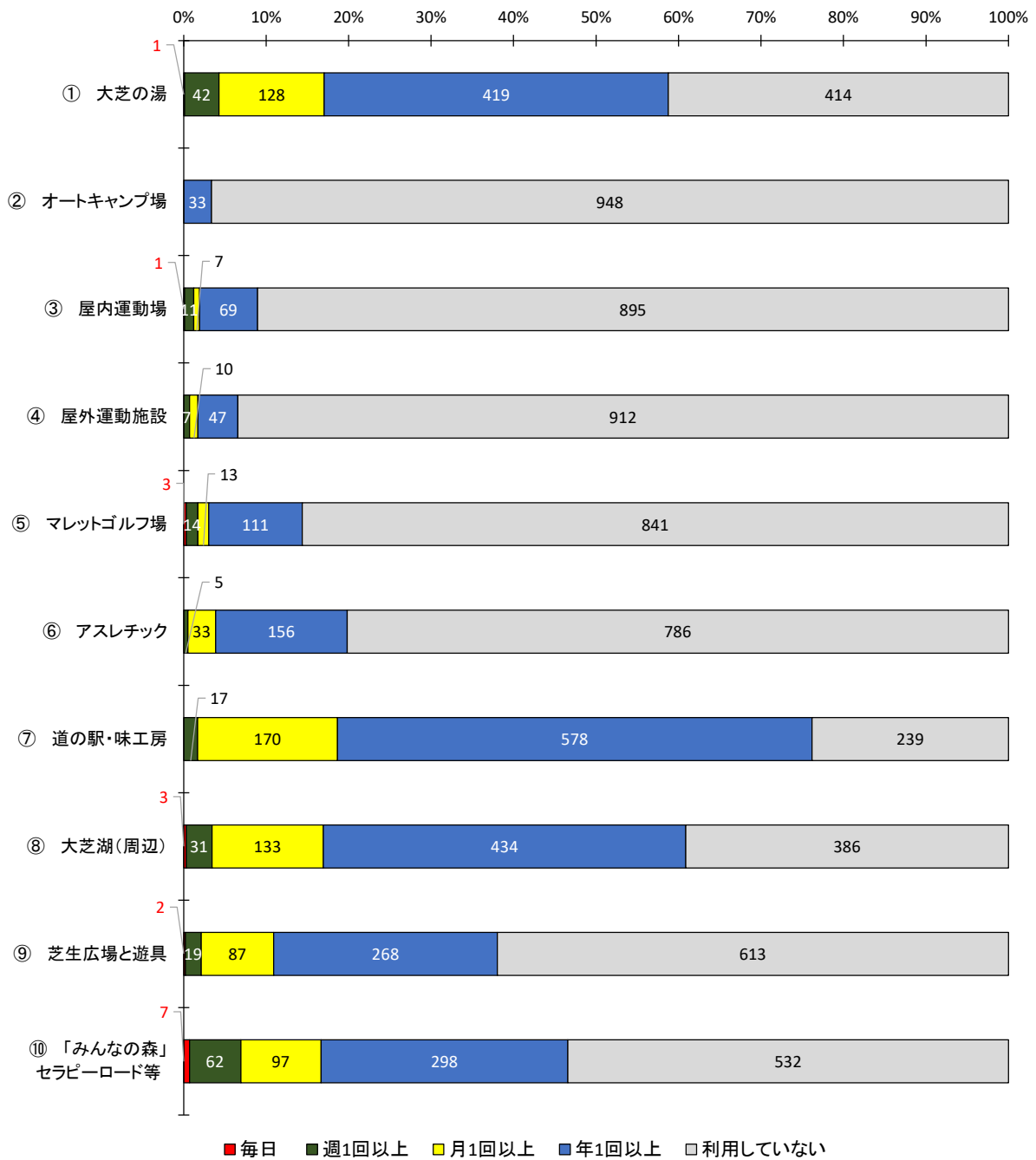


図 2-7 大芝高原施設別の利用状況回答者数

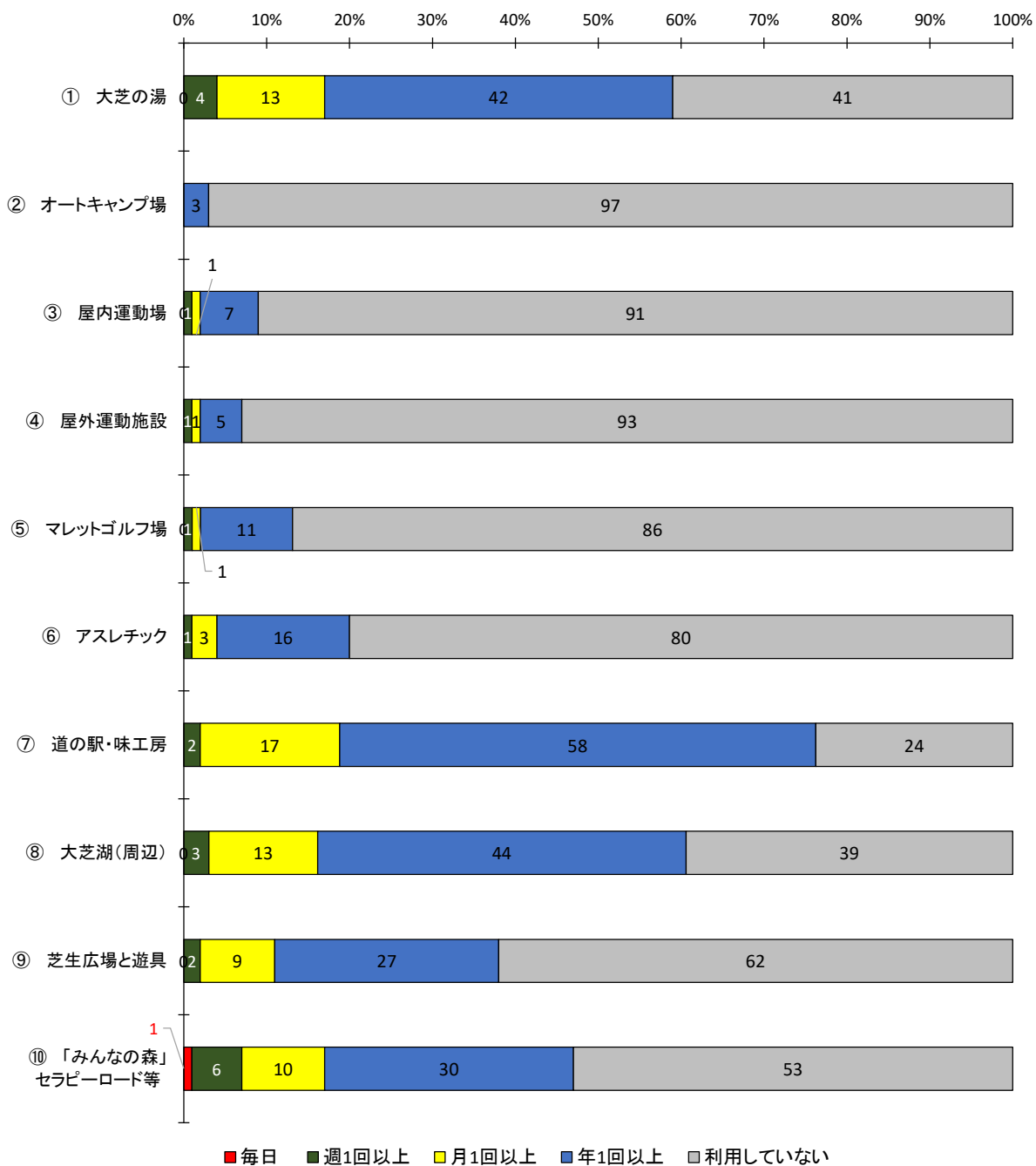


図 2-8 大芝高原施設別の利用状況回答割合（整数表示）

※少数第1位四捨五入により割合が100%とならない区分あり



表 2-6 回答者数と施設別回答数の順位（降順）

回答数		毎日	
① 大芝の湯	1004	⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	7
⑦ 道の駅・味工房	1004	⑤ マレットゴルフ場	3
⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	996	⑧ 大芝湖(周辺)	3
⑨ 芝生広場と遊具	989	⑨ 芝生広場と遊具	2
⑧ 大芝湖(周辺)	987	③ 屋内運動場	1
③ 屋内運動場	983	① 大芝の湯	1
⑤ マレットゴルフ場	982	② オートキャンプ場	
② オートキャンプ場	981	④ 屋外運動施設	
⑥ アスレチック	980	⑥ アスレチック	
④ 屋外運動施設	976	⑦ 道の駅・味工房	
週 1 回以上		月 1 回以上	
⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	62	⑦ 道の駅・味工房	170
① 大芝の湯	42	⑧ 大芝湖(周辺)	133
⑧ 大芝湖(周辺)	31	① 大芝の湯	128
⑨ 芝生広場と遊具	19	⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	97
⑦ 道の駅・味工房	17	⑨ 芝生広場と遊具	87
⑤ マレットゴルフ場	14	⑥ アスレチック	33
③ 屋内運動場	11	⑤ マレットゴルフ場	13
④ 屋外運動施設	7	④ 屋外運動施設	10
⑥ アスレチック	5	③ 屋内運動場	7
② オートキャンプ場		② オートキャンプ場	
年 1 回以上		利用していない	
⑦ 道の駅・味工房	578	② オートキャンプ場	948
⑧ 大芝湖(周辺)	434	④ 屋外運動施設	912
① 大芝の湯	419	③ 屋内運動場	895
⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	298	⑤ マレットゴルフ場	841
⑨ 芝生広場と遊具	268	⑥ アスレチック	786
⑥ アスレチック	156	⑨ 芝生広場と遊具	613
⑤ マレットゴルフ場	111	⑩ 「みんなの森」セラピーロード等	532
③ 屋内運動場	69	① 大芝の湯	414
④ 屋外運動施設	47	⑧ 大芝湖(周辺)	386
② オートキャンプ場	33	⑦ 道の駅・味工房	239

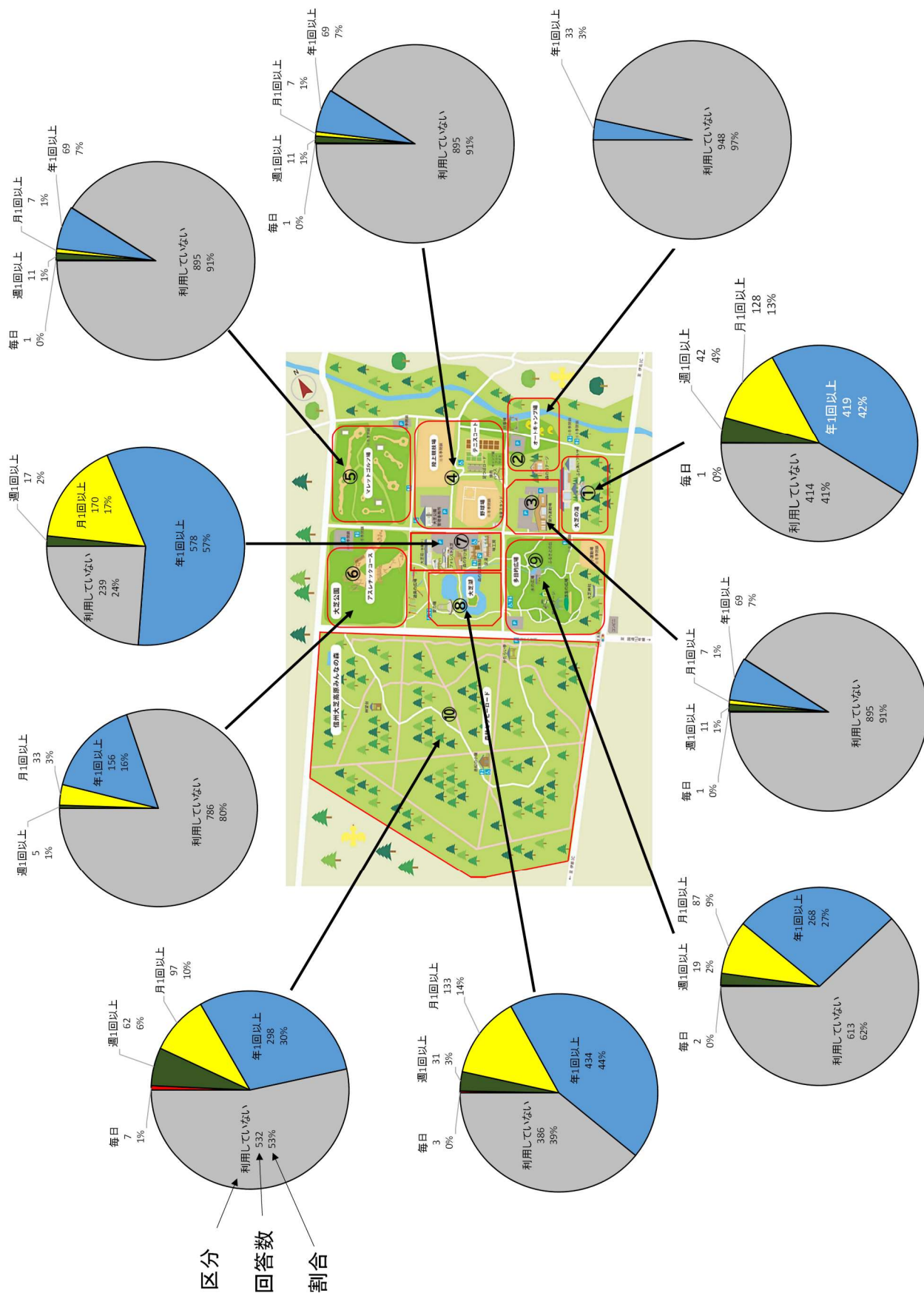


図 2-9 大芝高原施設別の利用状況割合



問2

問2 セラピーロード※の利用時期はいつが多いですか。該当する選択肢に○を付してください。(複数回答可)

- ① 春季 (3月～4月)
- ② 初夏 (5月～6月)
- ③ 夏季 (7月～8月)
- ④ 秋季 (9月～10月)
- ⑤ 晩秋 (11月～12月)
- ⑥ 冬季 (1月～2月)

※「セラピーロード」とは、癒しの効果が実証され、森林セラピーに適した道として認定された遊歩道です。リラックスやセルフケアなどを目的に、自由に散策して、森林浴の癒しを感じることができます。NPO 法人森林セラピーソサエティにより全国に65の森が認定登録されています。「森林セラピー」とは、森林浴を一步進めたもので、科学的に裏付けられた森林浴効果をいい、森林を利用して心身の健康維持・増進、疾病の予防を行うことを目的としています。

問1の「⑩「みんなの森」セラピーロード等」利用回答464者（「利用しない」は除く）の回答は1,204回答（表2-7）、回答割合は図2-10となった。

問1の利用頻度別の利用時期回答数は表2-8、利用頻度別の利用時期回答割合は図2-11であった。

表2-7 セラピーロード利用者の利用時期回答数

① 春季 (3月～4月)	② 初夏 (5月～6月)	③ 夏季 (7月～8月)	④ 秋季 (9月～10月)	⑤ 晩秋 (11月～12月)	⑥ 冬季 (1月～2月)	合計
193	347	254	276	95	39	1,204

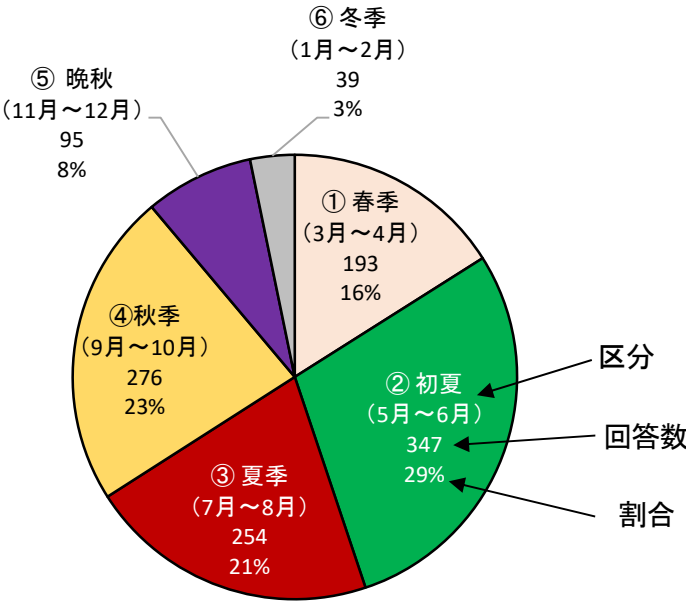


図2-10 セラピーロード利用者の利用時期の割合

表2-8 利用頻度別の回答数

利用頻度	① 春季 (3月～4月)	② 初夏 (5月～6月)	③ 夏季 (7月～8月)	④ 秋季 (9月～10月)	⑤ 晩秋 (11月～12月)	⑥ 冬季 (1月～2月)
毎日	7	7	6	7	7	6
週1回以上	49	53	51	57	38	13
月1回以上	50	75	63	77	30	9
年1回以上	86	205	131	133	17	11

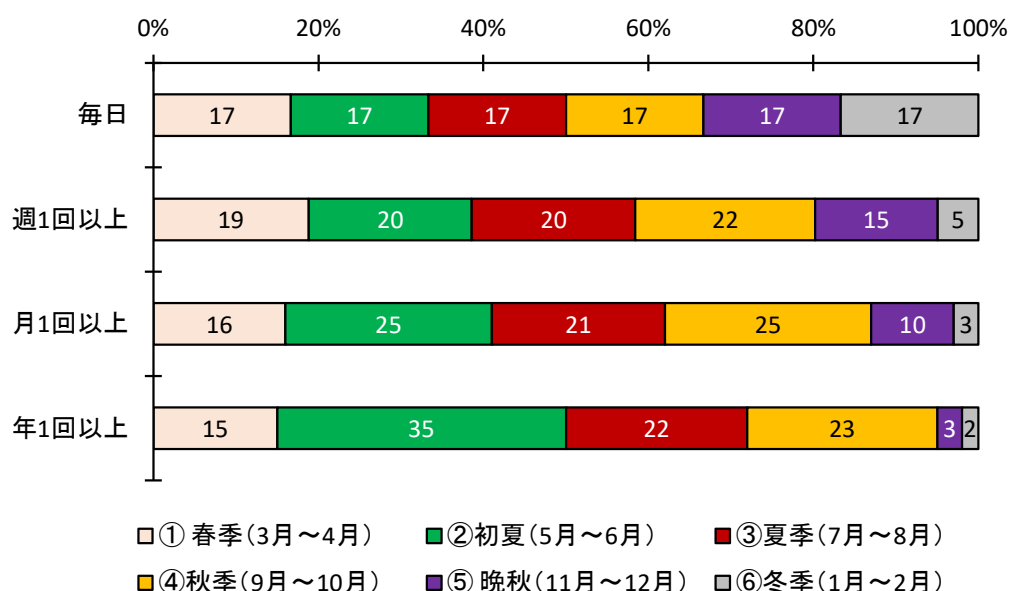


図 2-11 利用頻度別の利用時期回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100%とまらない区分あり。

問 3

問3 セラピーロードのある「みんなの森」についてどのようにお考えですか。該当する選択肢に一つ○を付してください。(複数回答可)

- ① 現状のままで良い
- ② 森林が暗い(見通しが悪く、怖い) → 明るい森林にしてほしい
- ③ もう少し日影が欲しい
- ④ 多様な樹種構成(いろいろな樹種の森林)にしてほしい
- ⑤ 低い木が多い方が良い
- ⑥ 高い木が多い方が良い
- ⑦ わからない
- ⑧ その他(具体的に:)

回答数 649 回答で(表 2-9)、その割合は図 2-12 となった。

「⑧その他」の回答は 62 者あり、うち 59 者より具体的内容の記載があった。具体的内容は、「セラピーロードの構造」、「ベンチ・サイン等」、「クマの出没・遭遇不安」、「現状の森林整備・管理」、「森林構成」、「利用」、「施設・付帯整備」、「その他」に区分された(👉p15～17)。

表 2-9 「みんなの森」の森林についての回答数

① 現状のま まで良い	② 森林が暗 い(見通し が悪く、怖 い)→ 明 るい森林 にしてほし い	③ もう少し日 影が欲し い	④ 多様な樹 種構成(い ろいろな樹 種の森林) にしてほし い	⑤ 低い木が 多い方が 良い	⑥ 高い木が 多い方が 良い	⑦ わからない	⑧ その他	合計
233	138	18	131	11	36	20	62	649



- ①現状のままで良い
- ②森林が暗い(見通しが悪く、怖い)→ 明るい森林にしてほしい
- ③もう少し日影が欲しい
- ④多様な樹種構成(いろいろな樹種の森林)にしてほしい
- ⑤低い木が多い方が良い
- ⑥高い木が多い方が良い
- ⑦わからない
- ⑧その他

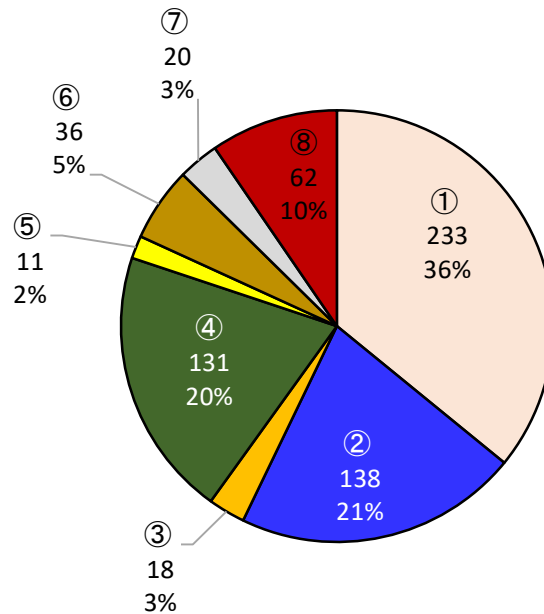


図 2-12 「みんなの森」の森林についての回答割合

【その他記載回答】

ア) セラピーロードの構造

- ▲ ウッドチップがほぼない。あまりアスファルトや土を歩きたくない
- ▲ ウッドチップをもっと全体的に敷き詰めて欲しい
- ▲ 根っこにつまづくことがあるので、ウッドチップ多めにして欲しい
- ▲ セラピーロードに木の根が出ているところがありつまづいて転びそうになり危険だ
- ▲ 根がでている所がある、チップはもう少し小さいほうが歩きやすい
- ▲ 道端の拡張
- ▲ ベビーカーでも通りやすい道にしてほしい

イ) ベンチ・サイン等

- ▲ 途中に座る場所が欲しい
- ▲ 途中にベンチが欲しい
- ▲ いすがもう少しほしい
- ▲ 歩道とは離してベンチを増やして。犬等の散歩は排泄物による衛生上の不安がある
- ▲ 景色のいいポイントにベンチ(できれば、みんなの森での間伐材からみんなで作る)を設置して欲しい
- ▲ 長いコースを歩いていいなと思っても途中に休憩する場所があったらいいなと思う
- ▲ 道の長さ、いろんな場所の標示をくわしく・草や花木の名前を明示案内して欲しい
- ▲ 目印があると歩きやすい
- ▲ 看板を分かりやすくして欲しい



- 木の名前や特長などを書いたプレートがもう少しあってもいい
- 樹種のプレートをもっと増やして欲しい。香りの強い木を増やして、触って香れるようなアナウンスが欲しい

ウ) クマの出没・遭遇不安

- 熊が出そう・・・変な人と会わないか心配
- 熊に注意
- クマがこわい
- 熊の出没が不安
- 周囲にひとけの少ない時は、クマが出るのではないかと不安になってしまう
- クマが出るのではと心配で行くことを考えてしまう
- 低予算で維持しやすいものが良いと思う。現状すごく癒されている。素敵な所。ただ、熊が怖い

エ) 現状の森林整備・管理

- 木の下枝は切ってほしい
- うるしが道の近いところにもある
- 農道沿い以外は風の通りが悪い

オ) 森林構成（木陰）

- 明るい森にして欲しいが、夏歩くときに日影が欲しい
- 夏の暑い時期の犬の散歩で利用させてもらうので、日陰が多い方がうれしい
- 高くして日影になるようにして欲しい
- 冬季に日差しが入るとともに、融雪できるような工夫をしてほしい、その一方真夏に日影ができるように木を配置してほしい

カ) 森林構成（保全）

- 以前見かけた草花や昆虫がだいぶ無くなったように思うので美しくするのも良いが、従来の動植物も大切にしてほしい
- 貴重な野鳥が営巣しているのでいじってはいけない
- 整備すべきところはできるだけ自然のままだと良いのでは
- あまり人工的な造形は良くない

キ) 森林構成

- 花の咲く木がほしい
- 花が咲く草花が増えると嬉しい
- 現状で良いと思うが、広葉樹など成長の早い樹木を植樹してもよいと思う
- 高い木を多めに、バランスよく低い木もあればいいと思う
- 東側の道路（大型農道）に沿っている所は道路から姿が見えない位の樹木が欲しい
- アカ松以外の樹種を、落葉樹等
- 落葉樹主体
- 高木種が一緒であるため、季節変化をあまり感じにくい。広葉樹などがあれば紅葉などの季節変化を感じることができて良いのではないかと感じる
- 多様な森があると良い。（ヒノキ林、広葉樹林など）／それぞれの木が元気になるよう、混み合いすぎでない林が良い。／野生動物が住みやすい森が良い。
- 害虫を寄せ付けず、森林セラピー効果の高い物質を分泌し、健康と森林浴効果を増進させるヒノキを主体とした樹種構成にしていきたい
- がんばって枯れた木を復活して

ク) 利用

- セラピーロード以外利用目的がわからない（みんなの森と言うならば他の利用方法も）
- 単に歩くだけのロードでなく、休んだり遊んだり、楽しみながら回れるような森にして欲しい
- 長い目で見て、大芝高原を色々の目的に使うことは無理。何か一つにしばって考えてほしい



- ① どこかに見晴らしの良いところを作してほしい
- ② 動物アレルギーがある為、最近はワンちゃん達が沢山訪れている為セラピーロードに行っておく機会が減らす様になった。色んな方が利用出来るのはとても良い事だと思うが、それらをきっかけとして利用しにくくなってしまった方もいるかなあ…と感じる事もある

ケ) 施設・付帯整備

- ③ 夜間の森が暗いので街灯が欲しい
- ④ 夜間は照明があると嬉しい
- ⑤ 展望台をもっと高くして欲しい（南アルプスが見えない）
- ⑥ 駐車場が欲しい
- ⑦ 無料キャンプ場を作してほしい。無料でなくても村民は無料にしてほしい
- ⑧ 天候に左右されない室内を OPEN してもらいたい。外を小さくして併用してみたい

コ) その他

- ⑨ みんなの森は利用した事がない

問 4

問 4 問 1 で大芝高原の施設を利用していると回答された皆さんは、主にどなたと利用されていますか。該当する選択肢に一つ〇を付してください。 ※施設を利用していない方は回答不要です。

- ① 一人（自分）
- ② 家族
- ③ 友人・知人
- ④ 団体・サークル活動
- ⑤ その他（具体的に： _____）

818 者の 865 回答があり（表 2-10）、その割合は図 2-13 であった。

「⑤その他」の回答は 14 者あり、うち 13 者より具体的内容の記載があった。

表 2-10 利用形態の回答数

①一人(自分)	②家族	③友人・知人	④団体・サークル活動	⑤その他	合計
178	521	107	45	14	865

【その他記載回答】

- ① ①であったり③であったり④であったり
- ② 親類
- ③ ひ孫を連れていく
- ④ 部活動
- ⑤ 地区行事
- ⑥ 職場で
- ⑦ 地区の体育祭
- ⑧ 愛犬
- ⑨ 犬
- ⑩ 家族に頼んで味工房で買い物
- ⑪ 大芝まで行く手段がない
- ⑫ 今の芝高原は昔の面影がない、最低です（森林部分）
- ⑬ 村長、村の議会は他の自治体に比べて努力しているか・・・疑問である。（このままでは将来が不安）まわりは落感している人が多い気がする。芝も大変だがかたよりすぎでは？

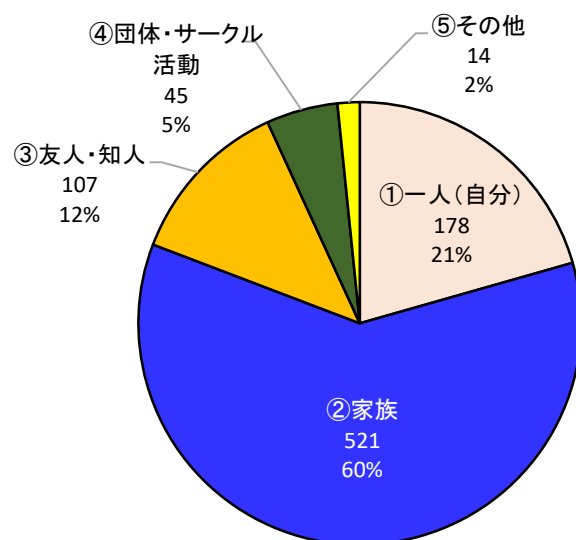


図 2-13 利用形態の回答割合

回答のあった年代別の利用形態割合は図 2-14、性別の利用形態割合は図 2-15、施設別の利用形態割合は図 2-16、図 2-17 であった。

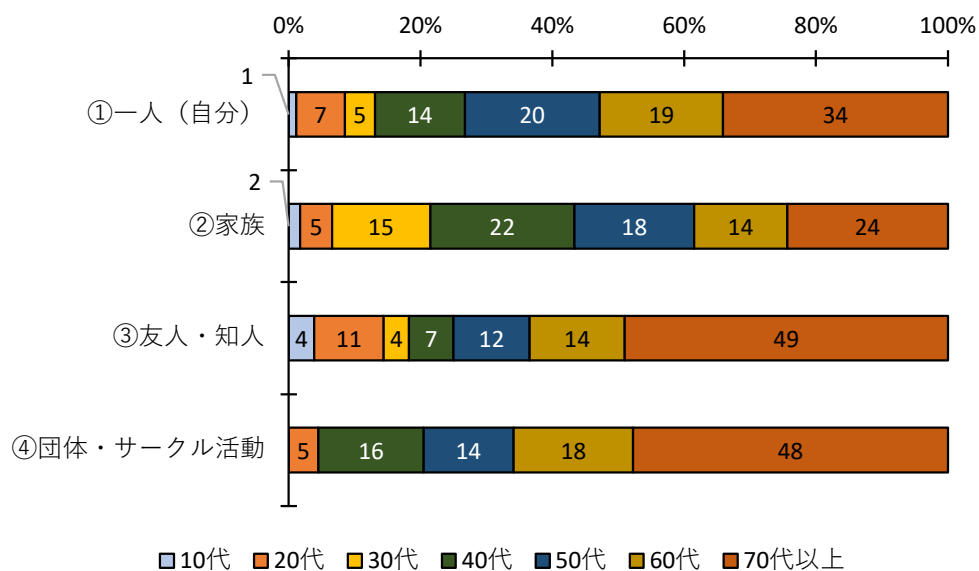


図 2-14 年代別の利用形態割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% とならない区分あり。

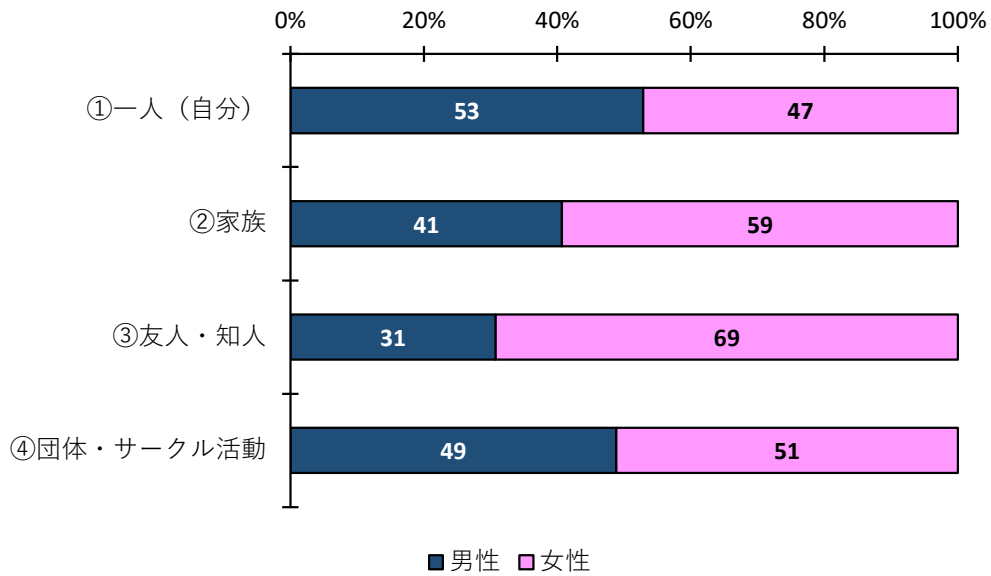


図 2-15 性別の利用形態の割合（n=827：性別回答なしは除く）

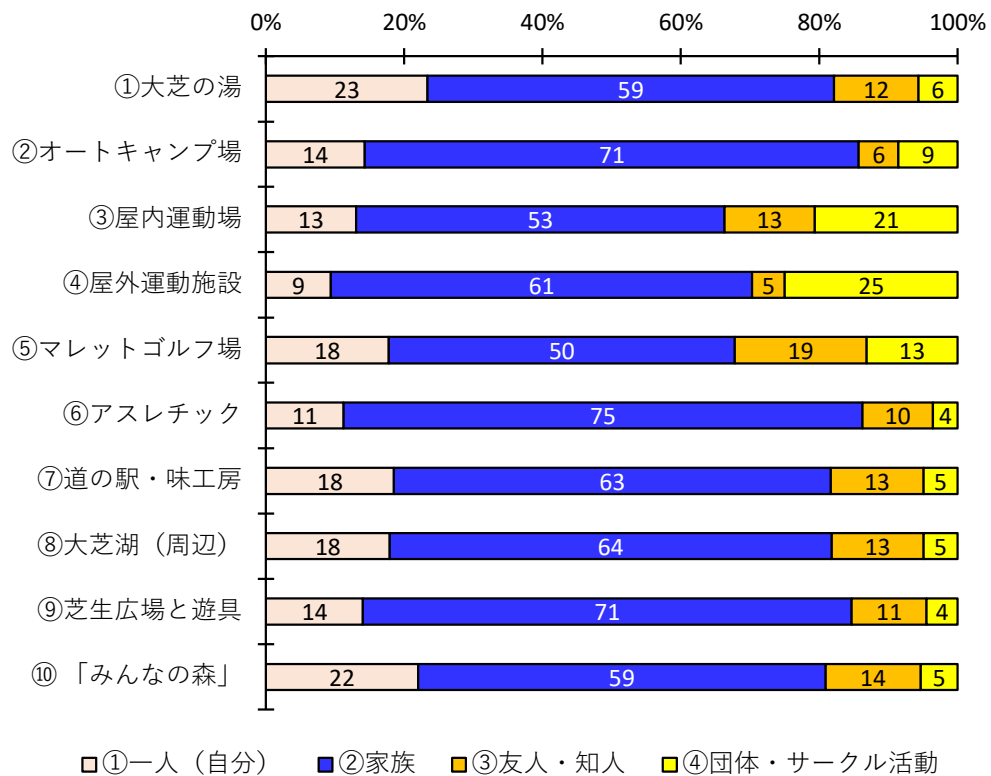


図 2-16 施設別の利用形態割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% にならない区分あり。

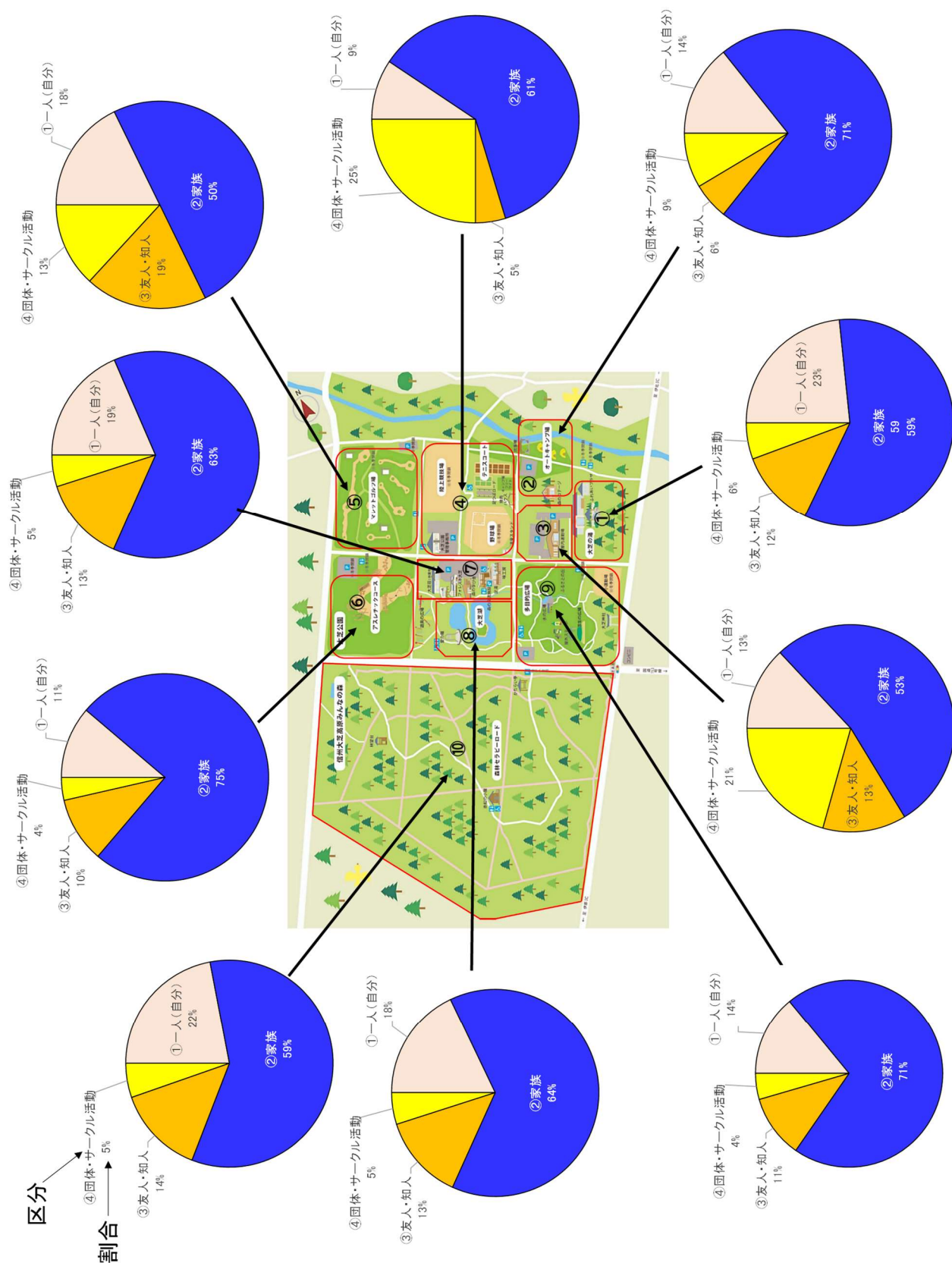


図 2-17 施設別の利用形態割合



(2) 大芝高原の松枯れについて

問 5

問 5 大芝高原のアカマツは、松くい虫被害（マツ材線虫病：枯れたアカマツからマツノマダラカミキリが線虫を運び伝播する病気）が著しく進行しています。特に樹齢 100 年を超えるアカマツは数年以内に壊滅的な状況になる可能性が大きく、その他のアカマツにおいても今後 25 年程度で衰退することが予想されています。アカマツが危機を迎えていることをご存じですか。該当する選択肢に一つ○を付してください。

- ① 知っている
- ② 知らない

※ ②知らないと回答された方は〔参考資料 2〕をご一読ください。

1,005 者の回答があり（表 2-11）、その割合は図 2-18 であった。

表 2-11 松枯れの認知回答数

①知っている	②知らない	合計	無回答
734	271	1,005	17

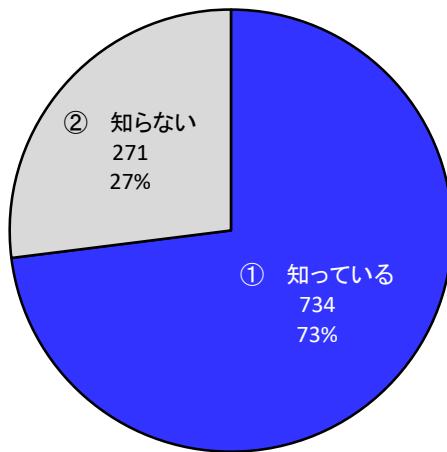


図 2-18 松枯れの認知回答割合

回答のあった年代別の認知割合（以下：「認知度」）は図 2-19、性別の認知度は図 2-20、施設別利用者と利用しない者の認知度は図 2-21 であった。

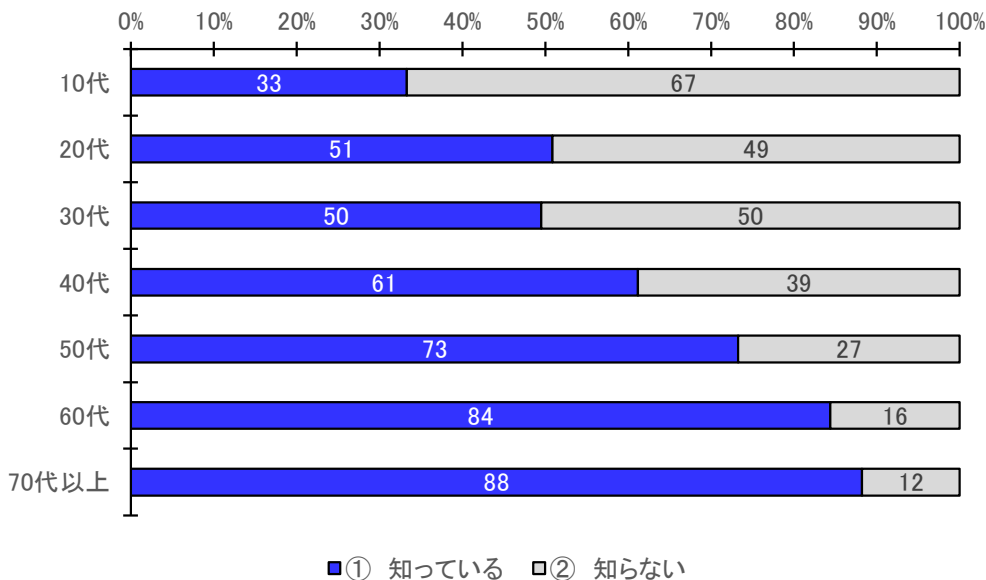
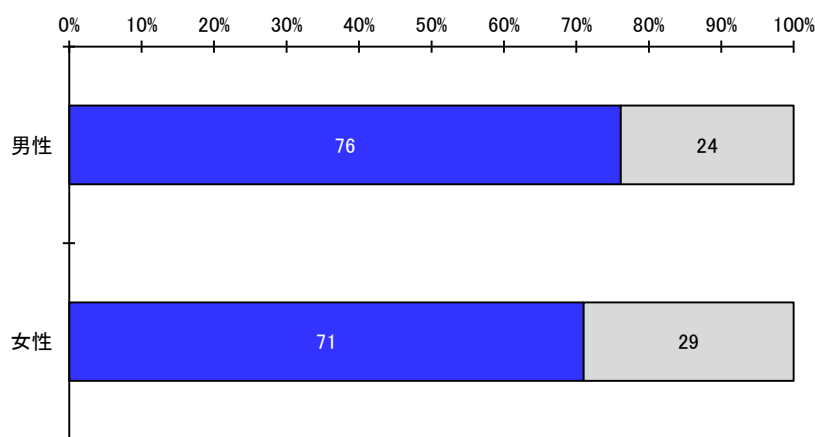
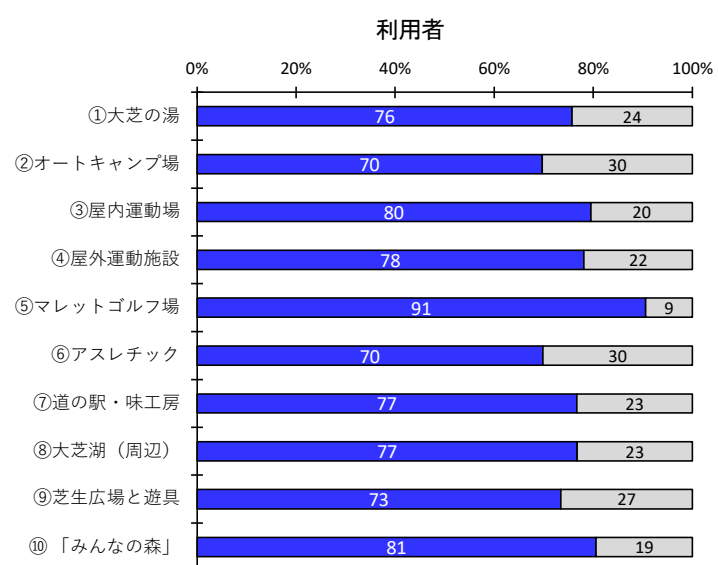


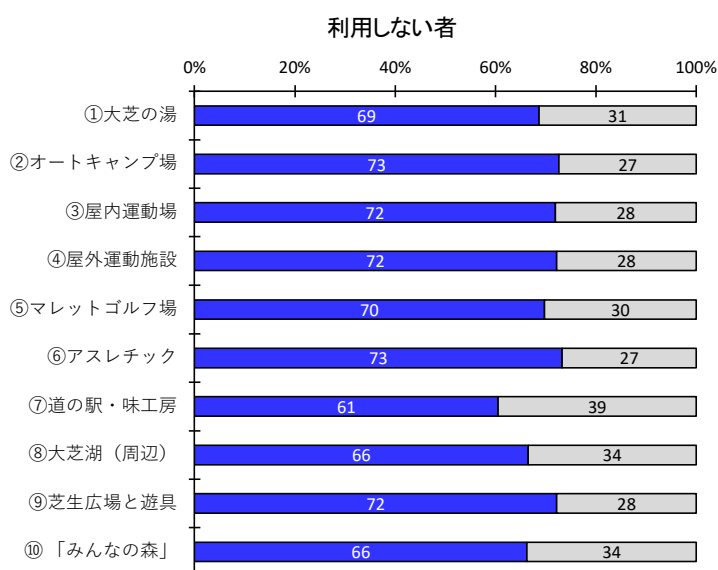
図 2-19 松枯れについての年代別の認知度



■① 知っている □② 知らない
図 2-20 松枯れについての性別の認知度



■①知っている □②知らない



■①知っている □②知らない

図 2-21 松枯れについての施設利用者（上）と施設利用しない者（下）別の認知度



【大芝高原利用者と利用していない人の「松枯れ」認知度】



大芝高原を“利用したことがある人”と“利用していない人”とに、「松枯れ」の認知度に違いがあるかを統計手法で検定すると....

「Mann-Whitney-U 検定」

【仮説】

- ①：「利用あり」の方が大きい値を与える傾向がある。
- ②：「利用なし」の方が大きい値を与える傾向がある。
- ③：①と②どちらかが成立する。

【判定】

U-Value = 89.5 両側確率 $p=0.003$

有意水準 1 % ①を採択

有意水準 1 % ②を棄却

有意水準 1 % ①を採択

大芝高原を“利用したことがある人”と“利用していない人”とに、「松枯れ」の認知度に違いがあり、“利用したことがある人”の認知度は高い。

【年代別の認知度の違い】



大芝高原を“利用したことがある人”と“利用していない人”の「松枯れ」の認知度（「知っている」）に年代別の関係性があるかを統計的に見ると....

「Spearman 順位相関係数」

$r_s = 0.929$

【両側検定】 $p = 0.023$

有意水準 5 % 相関関係あり・1% 相関関係なし

大芝高原を“利用したことがある人”と“利用していない人”の「松枯れ」の認知度（知っている）には年代別の関係性があり、“利用したことがある人”も“ない人”も年齢が高いほど認知度は高い。

問 6

問 6 大芝村有林整備基本計画（2021 年）では枯れる前にアカマツを伐採し、現存するヒノキ・広葉樹を育成し、資源・空間の利活用を進めることとしていることをご存じですか。該当する選択肢に一つ○を付してください。

- ① 知っている
- ② 知らない

975 者の回答（表 2-12）、その割合は図 2-22 であった。

回答のあった年代別の認知割合（以下：「認知度」）は図 2-23、性別の認知度は図 2-24、施設別利用者と利用しない者の認知度は図 2-25 であった。

表 2-12 大芝村有林整備基本計画の認知回答数

①知っている	②知らない	合計
493	482	975

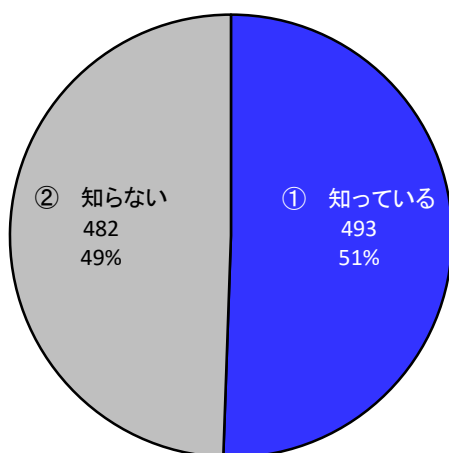


図 2-22 大芝村有林整備基本計画の認知回答割合

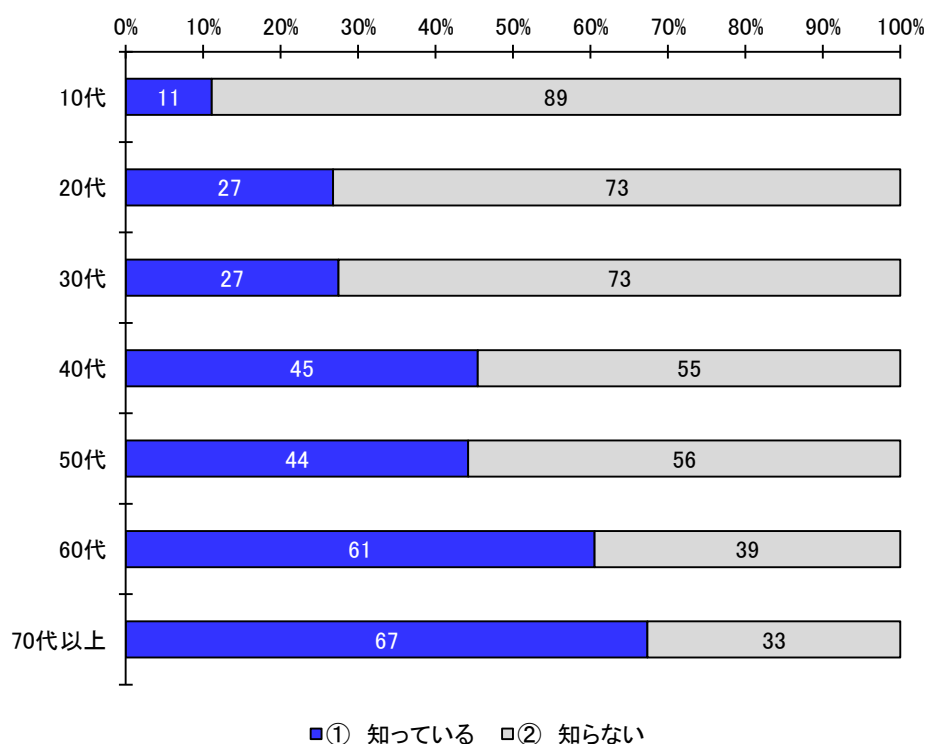


図 2-23 大芝村有林整備基本計画についての年代別の認知度

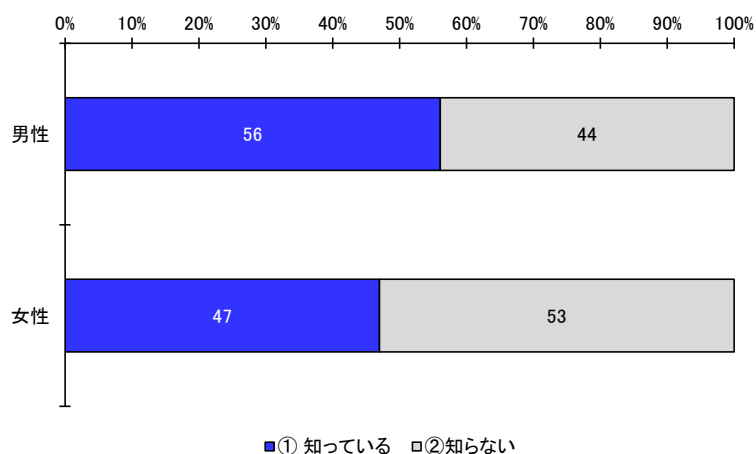


図 2-24 大芝村有林整備基本計画についての性別の認知度

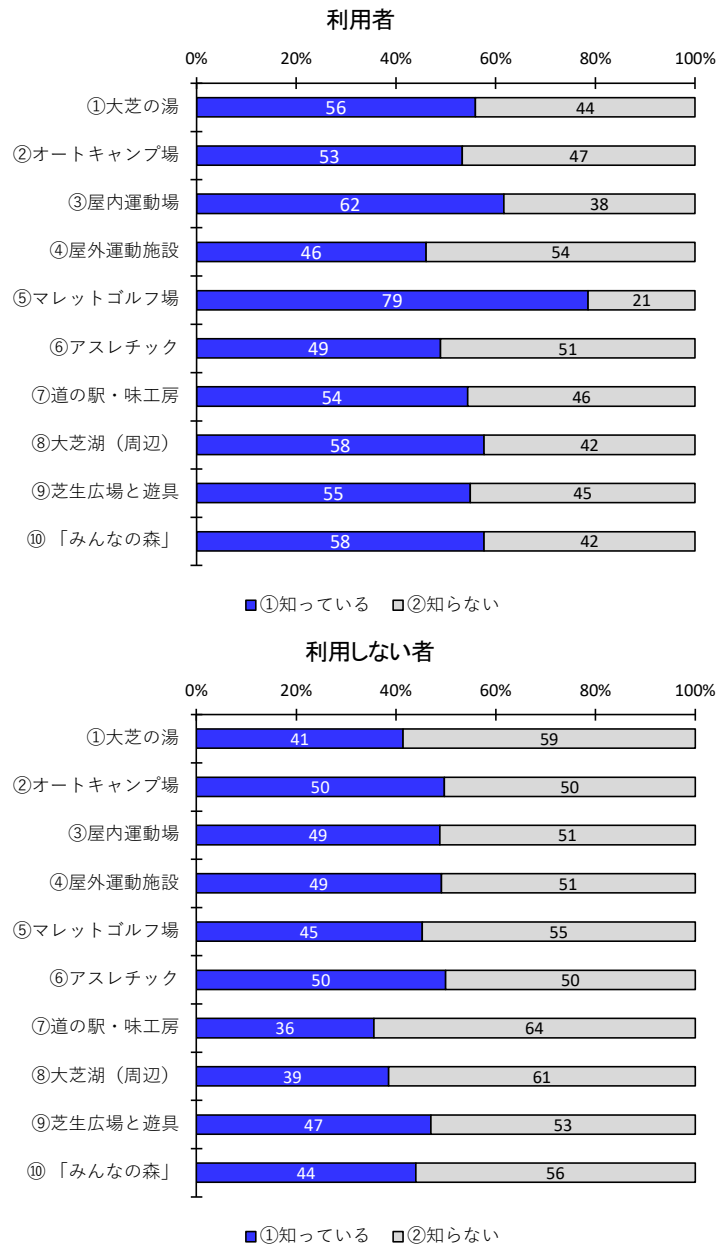


図 2-25 施設利用者（上）と施設利用しない者（下）別の認知度



「Mann-Whitney-U 検定」

①：「利用あり」の方が大きい値を与える傾向がある。

②:「利用なし」の方が大きい値を与える傾向がある。

③ : ①と②どちらかが成立する。

U-Value = 92 両側確率 $p=0.002$

有意水準 1 % ①を採択

有意水準 1 % ②を棄却

有意水準 1 % ①を採択

大芝高原を“利用したことがある人”と“利用していない人”とに、「大芝村有林整備基本計画（2021年）」の認知度に違いがあり、“利用したことがある人”の認知度は高い。

(3) アカマツの活用方法について

問7 枯死したアカマツや伐採したアカマツの利用についてどのようにお考えですか。該当する選択肢に○を付してください。(複数回答可)

- ① 良いアカマツは市場に材として出荷し、枯れや低質のアカマツは木質ペレット[※]やチップ材料として販売して、村の財源に充てる
- ② 良い材は、地元（村や上伊那地域）で加工し、村の公共施設の木材として利用する
- ③ アカマツ材の利用（製品や炭等）を研究して村独自の製品とする
- ④ 薪や DIY 材として村民に配付または販売する
- ⑤ わからない
- ⑥ その他（具体的に：_____）

※木質ペレットとは、間伐材等の木材を破碎して粉状にしたあと、乾燥・圧縮して円柱状に固めて作られるストーブやボイラーの燃料です。100%木のみを原料としており、接着剤等の添加物を一切使用しません。

1,833 回答（表 2-13）、その割合は図 2-26 であった。

「⑥その他」の回答は 32 者あり、具体的内容の記載があった。

表 2-13 アカマツの活用方法についての回答数

①	②	③	④	⑤	⑥	
良いアカマツは市場に材として出荷し、枯れや低質のアカマツは木質ペレットやチップ材料として販売して、村の財源に充てる	良い材は、地元（村や上伊那地域）で加工し、村の公共施設の木材として利用する	アカマツ材の利用（製品や炭等）を研究して村独自の製品とする	薪や DIY 材として村民に配付または販売する	わからない	その他	合計
709	483	254	277	78	32	1,833

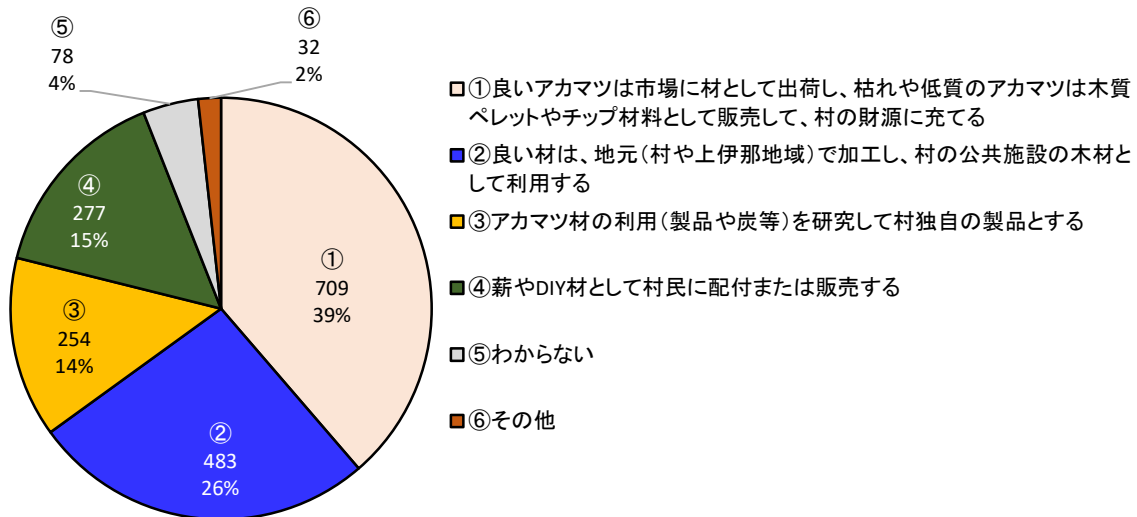


図 2-26 アカマツの活用方法についての回答割合

【その他記載回答】

- ✎ 村内外の子供達の工作や木育に使う
- ✎ 子供の学びとして林業体験や、木工に活用してはどうか
- ✎ 小中学校へ木工用に一定量を配布する。／村独自の製品開発は不要（選択肢 3 に反対）。／地域住民が日常利用しやすい仕組みづくりをしてほしい
- ✎ 精油・炭・木製まっくんストラップ・アスレチック
- ✎ キャンプブームなので、シダープランク？ウッドプランクグリルトーチなど
- ✎ ふるさと納税で使用する
- ✎ ウッドチップに加工してもらい、安価で買えたら嬉しい
- ✎ チップは無料で希望者に
- ✎ 薪ストーブは使用者が少ない、木材チップとして少しでも高値に売る
- ✎ またチップの配布があると嬉しい
- ✎ ペレットや製品をふるさと納税にして、森林整備等に使う
- ✎ 無料配布希望、特にペレット（高遠へ行ってますが、遠いですね）
- ✎ 一般家庭への配布
- ✎ 薪として村民に売却する
- ✎ ピザにも使用
- ✎ 伐採時に松葉が処分される前に希望する住民に開放していただきたい。健康効果があるのでお茶にして飲みたい
- ✎ 燻製料理に利用して、大芝名物を作る
- ✎ BBQ やキャンプで大芝を利用する人に無料や割安で配布
- ✎ アカマツは、先人が何のために（植えていたのかしら？守ってきた？）その思いを、思い通りにしたらよいかなと思う
- ✎ ほぼ①だが、村の財源用途を大芝森林整備に限ったら良いのでは
- ✎ 村の財源になるようなことを考えて欲しい
- ✎ 村に利益になるようにしてもらえば
- ✎ 先に大芝の木で作ったという経木で明かりのつくものを手芸で作った。きれいで大芝のものと聞いただけで嬉しかった
- ✎ 木の椅子ができないか、腐らない加工で



- ✎ マックンを大小3種類位で首・手足が動く様にロボット化する。村内にも機械加工、電気配線等をする会社は数多くあります。村外、県外、又国外へ南箕輪村のキャラクターとして自然と温泉、村の素晴らしさを外部に発信すること
- ✎ 松枯れ材の利用をする時、材の移動に伴い虫の拡散がないように気を付けてほしい
- ✎ 松枯れ被害を受けた木材は、木材に潜んでいるカミキリムシが拡大することを防ぐために、できる限り大芝高原の中で処理することが望ましい。例えば、味工房などの施設やキャンプ場で燃料にしたり、炭化をして虫や水分を除去した上で燃料・加工用へと利活用すべきであると思う
- ✎ 有機農業推進のためには「オガクズ牛ふん堆肥」が有用な一方で、現在地域内で自給できない状態にある。伐採樹を粉碎したオガクズを作り、畜産分野と協力してオガクズ堆肥を製造することで有機農業を推進して、将来の地域内食料自給に貢献してほしい
- ✎ 大芝高原の施設やセラピーロードに撒いて自然に戻る
- ✎ 塩尻の発電所に売る
- ✎ 松茸が出ると良い
- ✎ 信州大学農学部研究機関はないのか

年代別のアカマツの活用方法についての回答割合は図 2-27、性別の割合は図 2-28 であった。

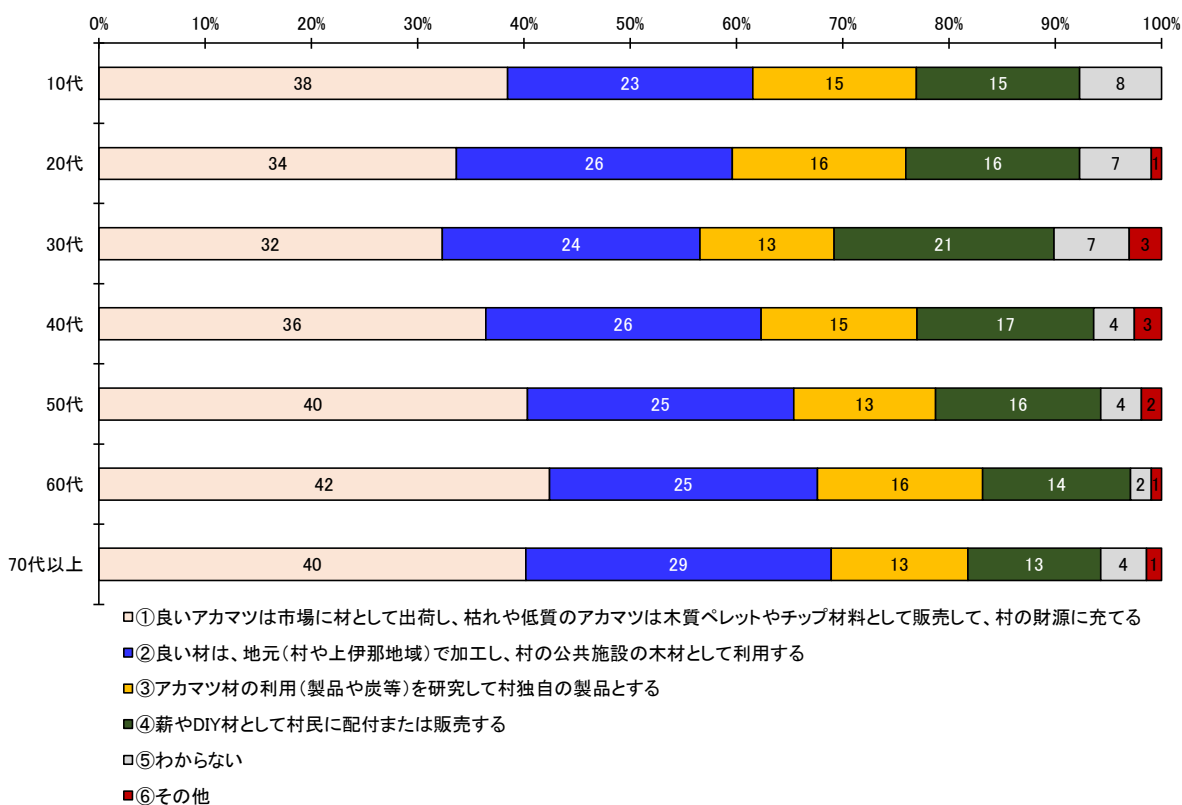
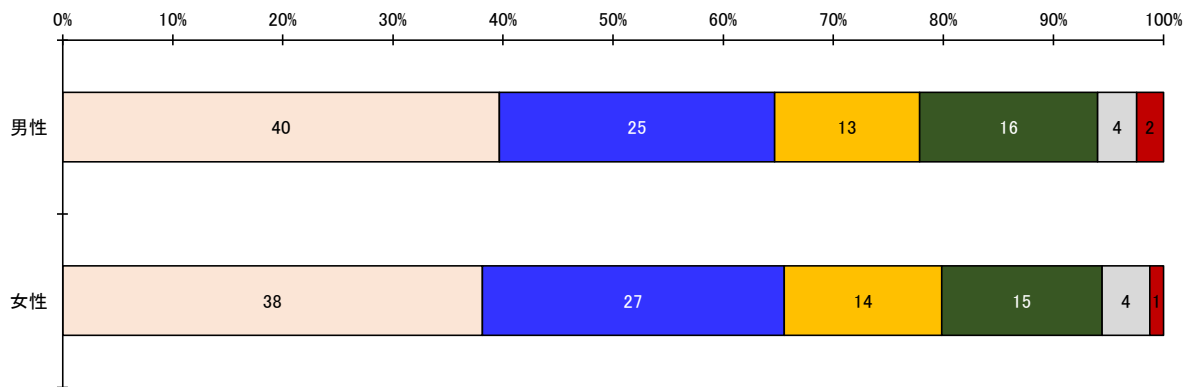


図 2-27 アカマツの活用方法についての年代別回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% にならない区分あり。



- ① 良いアカマツは市場に材として出荷し、枯れや低質のアカマツは木質ペレットやチップ材料として販売して、村の財源に充てる
■② 良い材は、地元(村や上伊那地域)で加工し、村の公共施設の木材として利用する
■③ アカマツ材の利用(製品や炭等)を研究して村独自の製品とする
■④ 薪やDIY材として村民に配付または販売する
□⑤ わからない
■⑥ その他

図 2-28 アカマツの活用方法についての性別別回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% とならない区分あり。

(4) 大芝高原の森林に求めるものについて

問 8

- 問 8 アカマツを伐採した後にどのような森や樹木があってほしいですか。該当する選択肢に○を付してください。(複数回答可)
- ① 現在多く生育するヒノキ(針葉樹)主体の森林
 - ② 花が咲いたり、紅葉したりする広葉樹の森林
 - ③ 針葉樹と広葉樹の混ざった森林(あるいは常緑樹と落葉樹の混ざった森林)
 - ④ 明るい見通しの良い森林(低木が少ない森林)
 - ⑤ アカマツ林の再生
 - ⑥ わからない
 - ⑦ その他(具体的に:)

1,566 回答(表 2-14)、その割合は図 2-29 であった。

「⑦その他」の回答は 60 者あり、うち 59 者より具体的内容の記載があった。

表 2-14 アカマツを伐採した後にどのような森や樹木を望むかの回答数

① 現在多く生育するヒノキ(針葉樹)主体の森林	② 花が咲いたり、紅葉したりする広葉樹の森林	③ 針葉樹と広葉樹の混ざった森林(あるいは常緑樹と落葉樹の混ざった森林)	④ 明るい見通しの良い森林(低木が少ない森林)	⑤ アカマツ林の再生	⑥ わからない	⑦ その他	合計
175	501	428	248	93	61	60	1,566



- ① 現在多く生育するヒノキ(針葉樹)主体の森林
- ② 花が咲いたり、紅葉したりする広葉樹の森林
- ③ 針葉樹と広葉樹の混ざった森林(あるいは常緑樹と落葉樹の混ざった森林)
- ④ 明るい見通しの良い森林(低木が少ない森林)
- ⑤ アカマツ林の再生
- ⑥ わからない
- ⑦ その他

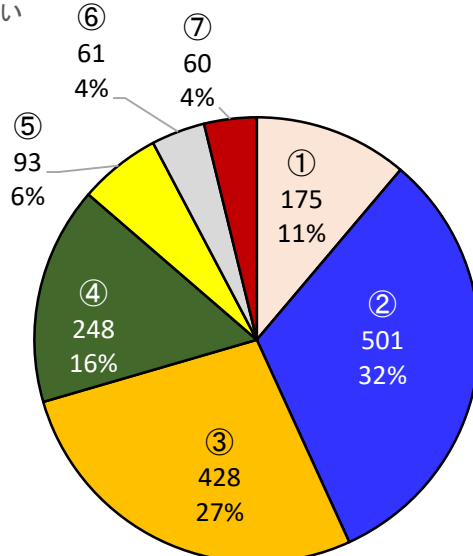


図 2-29 アカマツを伐採した後にどのような森や樹木を望むかの回答割合

【その他記載回答】

- 🌲 加えてイチョウ並木があるとよい、モミジ、カエデ
- 🌲 アカマツは今より多くしてほしい
- 🌲 まっくん、リストラされないように
- 🌲 アカマツは村の木、シンボルとしているならば、たやすことができないのでは
- 🌲 アカマツも入った③
- 🌲 長い目で見てアカマツに変更した方がよい。私達の子供の頃は年に一回11月に(ゴミ山)と言って山の掃除をしたものです。樹木の変更をして山の掃除をしないと駄目
- 🌲 カラマツ等もよい
- 🌲 ケヤキ・桜等のお花見のできる森で集客、秋は紅葉で集客
- 🌲 仙台市の定禅寺通りのようなケヤキ並木はどうか
- 🌲 この地域の潜在植生を参考にし、病気に強い森林+子供達が好き放題遊べる森林
- 🌲 アレルギーを起こさない樹木をお願いしたいです
- 🌲 家族がアレルギーがあるためスギ、ヒノキは避けて欲しい
- 🌲 あまり花粉の出ない樹木
- 🌲 花粉アレルギーを発症したりするので考えてください
- 🌲 花粉が少ない・害虫がわからない
- 🌲 花粉が少ない物
- 🌲 花粉が少なければ何でも
- 🌲 花粉のない木
- 🌲 花粉の少ない樹木
- 🌲 花粉の少ない木
- 🌲 花粉症の人に寄り添った樹木にして欲しい
- 🌲 花粉対策のため、広葉樹へと可能なら切り換えた方がよいと思う。長期的に人間にも地球にも優しいような樹木の量となるように調節すべきである(二酸化炭素固定が効率的にできるような樹間とする、など)



- 🌲 ヒノキはいりません、花粉がとぶ
- 🌲 ヒノキやスギの花粉症にかかる人が多くなっているのもそれ以外の木が多いほうがいい
- 🌲 公園内などスペースが広いところには広葉樹を、それ以外の木の密度が高いエリア（セラピーロードなど）は針葉樹がいいと思う。（針葉樹林の中では日当たりが悪く新しい広葉樹は育ちにくいと考えるため）
- 🌲 高遠のサクラ、箕輪のモミジのように観光になる木を植える
- 🌲 桜
- 🌲 桜、紅葉他四季を通し咲く木を植樹し、四季を通し来場者を呼び込み財源確保を図る
- 🌲 桜の木が少しあってもいいと思う
- 🌲 四季折々の花が咲く木があるといい
- 🌲 春に花は 日本ではモクレン類は6種類ほどあるそうである。桜（一重・八重）モクレン（白・紫・黄色等）コブシ・タイサンボク ハナミズキ（白・ピンク・赤など）。夏はみどり、秋には紅葉ものモミジ（赤・黄など）、イチョウは大芝には似合わない気がする
- 🌲 春は桜、秋はもみじ
- 🌲 どんぐり・くぬぎ
- 🌲 子供達に親しんでもらう為に、カブトムシや昆虫が集まる森林、クヌギやコナラなど
- 🌲 コナラ・ブナ・クヌギなど昆虫が好みやすい樹種
- 🌲 時期によっていろんな草花もほしい
- 🌲 あまり人工的にせず自然に出てきた木を大切に愛でる森
- 🌲 散策は可能だが、樹種は天然林に近いものが良いと思う
- 🌲 自然環境にそくした生態系の森
- 🌲 土地本来の樹種、天然林
- 🌲 上伊那の気候・土地に適した植生の森
- 🌲 長く続く森にしてほしい
- 🌲 適度なバランスを保ちながら
- 🌲 所々にシンボルツリーがあると楽しい（ヒマラヤスギとかモミとか）/害虫防除に差し支えがなければ、アカマツも少しあるといいかも/大芝荘の前にあるような常緑広葉樹も少しあると雰囲気が良いと思う
- 🌲 松以外の針葉樹の森（林）と広葉樹だけの林に分けて森林作り、混ざった林はきれいに見えない
- 🌲 村民の人が好きな木を持ち寄って植樹するとか。イメージとしては、明治神宮の杜。全国からいろんな木を集めて、植樹してできた杜のイメージです。それを、村民の方からやってもらうとか
- 🌲 苔の森
- 🌲 大芝高原を四季を通して観光客や近隣市町村に来てもらえるように、花木・紅葉木を中心の森林にし、大芝の湯を中心とした集客可能な魅力ある施設に見直し（変更）利益が出る総合施設を目指す！
- 🌲 虫の少ない物
- 🌲 できれば害虫が嫌う物
- 🌲 低木が少ない森林
- 🌲 低木を多くしてほしい。落葉樹はダメ
- 🌲 白樺の林を一部に
- 🌲 防災施設を兼ねたもの
- 🌲 野鳥の為に実のなる木を植えてください
- 🌲 様々なタイプの森があると良い。自然の広葉樹を増やしてほしい。アカマツは無理に再生しなくて良い



- 🌲 セラピーロードは特に見通しがきく森（林）にしてほしい
- 🌲 なんとなくで決めないで欲しい（先々を考えて、目的を持って）
- 🌲 室内を作って、走ったり歩いたりするところや、体育館が欲しい（スポーツしたい、利用者増）

年代別の「伐採した後にどのような森や樹木を望むか」についての回答割合は図 2-30、性別の割合は図 2-31 であった。

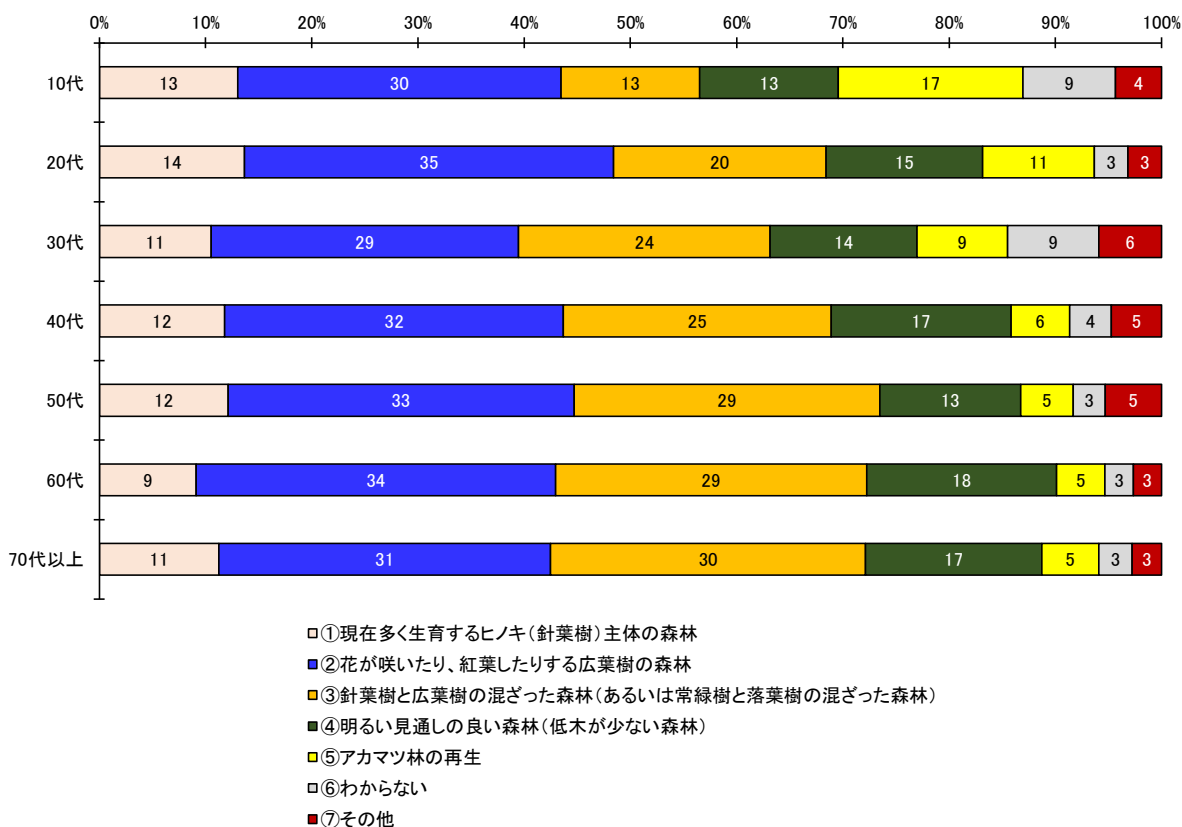


図 2-30 「アカマツを伐採した後にどのような森や樹木を望むか」の年代別回答割合
※少数第一位四捨五入により割合が 100% とならない区分あり。

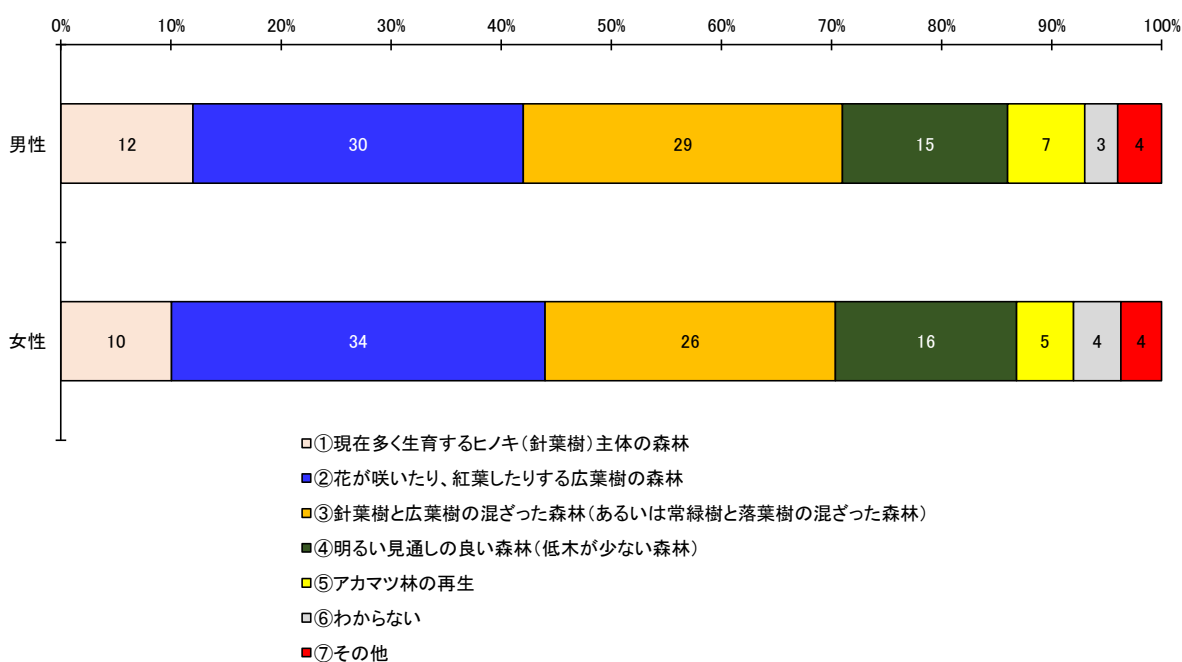


図 2-31 「アカマツを伐採した後にどのような森や樹木を望むか」の性別回答割合



問 9

問 9 理想とする森や樹木のイメージをお答えください。該当する選択肢に○を付してください。(複数回答可)

- ① 現在のような高い木がある森林
- ② 低い(目の高さまで)樹々の森林
- ③ 色々な樹種があって、樹々の高さや奥行きが様々存在する森林
- ④ 施設の周りや道路沿いに庭木や街路樹のような樹々があるだけで良い
- ⑤ わからない
- ⑥ その他(具体的に:)

1,190 回答(表 2-15)、その割合は図 2-32 であった。

「⑥その他」の回答は 43 者あり、具体的内容の記載があった。

表 2-15 理想とする森林のイメージ回答数

① 現在のような 高い木がある 森林	② 低い(目の高 さまで)樹々 の森林	③ 色々な樹種が あって、樹々 の高さや奥行 きが様々存在 する森林	④ 施設の周りや道 路沿いに庭木 や街路樹のよう な樹々があるだ けで良い	⑤ わからない	⑥ その他	合計
373	31	637	56	50	43	1,190

- ① 現在のような高い木がある森林
- ② 低い(目の高さまで)樹々の森林
- ③ 色々な樹種があって、樹々の高さや奥行きが様々存在する森林
- ④ 施設の周りや道路沿いに庭木や街路樹のような樹々があるだけで良い
- ⑤ わからない
- ⑥ その他

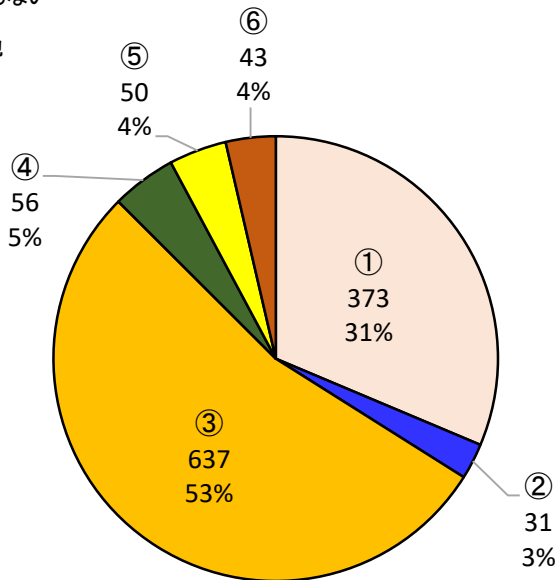


図 2-32 理想とする森林のイメージ回答割合

【その他記載回答】

- アカマツ、現在の森林が理想だが松枯れ対策を研究していく。信大が近いので松枯れゼミを作る
- エリアを分けて低木と高木があると、目的に合わせて行きやすい
- 季節感を楽しめて夏はすずしい森



- 🌲 この地域に適した樹種の森林
- 🌲 この地域の優先樹種を生かした森づくり
- 🌲 さわやかな森、陽が差し込むような森、うっそうとしない森
- 🌲 しっかりと管理された森
- 🌲 セラピーロードの他に紅葉が楽しめるという
- 🌲 セラピーロードは現在のままの森林、それ以外の所は見通しが良い方が良く
- 🌲 その土地の土壌や気候に適した樹種
- 🌲 ドングリや果実が出来る樹木
- 🌲 もう少し明るい森林にする
- 🌲 家族で楽しく散歩ができる森
- 🌲 花粉症やアレルギーで悩む方が多いので、そう言った方にも親しみをもって利用してもらえ
- 🌲 アレルギーの子供がいるので、利用しにくい（スギ、ヒノキ等）
- 🌲 花木（四季を通じ）や紅葉ゾーン化（区画化）し、通年を通じ集客を目指す
- 🌲 花木をまわりに植えては（梅・桜・花桃・ヤマボウシ等）
- 🌲 各エリアでメリハリのある森林
- 🌲 管理しやすい樹木。例えば、落ち葉が少ない、枝が少ない
- 🌲 紅葉・黄葉する落葉樹
- 🌲 紅葉がきれいな木（もみじ等）
- 🌲 紅葉落葉する木も多くあるという
- 🌲 高い森木低い森木個々の場所を作る
- 🌲 桜、もみじ、など観光の目玉になる樹木の森
- 🌲 桜、もみじがある森林、沢山の人に大芝高原に来て欲しいです
- 🌲 桜の森、もみじの森、イチヨウの森、思わず写真を撮りたくなる風景
- 🌲 子供に遊びが提供出来る場 木の実拾ったり昆虫採取出来たり
- 🌲 自然環境にそくした生態系の森
- 🌲 自然動物との共存ができる森
- 🌲 芝生のところに樹木がないと日影が出来なくて夏場利用者が困るという
- 🌲 手入れは大変と思いますが、現在の森林は誇りに思う
- 🌲 森林はあるといいが遊具付近は影になるととても寒いので木はあまり必要ないと思
- 🌲 身近にある自然な森を感じさせるようにする
- 🌲 針葉樹もあり広葉樹もあり、コシアブラなど多樹種存在する今の森林が、季節も感
- 🌲 じられるし好きです。歩くのが楽しい
- 🌲 地震や火災があっても被害が最小限となるような森林
- 🌲 鳥のさえずりがきこえるような森林
- 🌲 土地本来の森林、天然林
- 🌲 二段林、複層林、見本林等
- 🌲 薬草、食用となる野草の保護。
- 🌲 養命酒酒造や伊那食品のような施設と森林が一体となって、リラクゼーション、観
- 🌲 光できるエリアの開発を見据えた植樹
- 🌲 落葉樹はダメ
- 🌲 問8 で書いた
- 🌲 問8 とかぶるが、観光に結びつく森林

年代別の「理想とする森林のイメージ」についての回答割合は図 2-33、性別の割合は図 2-34 であった。

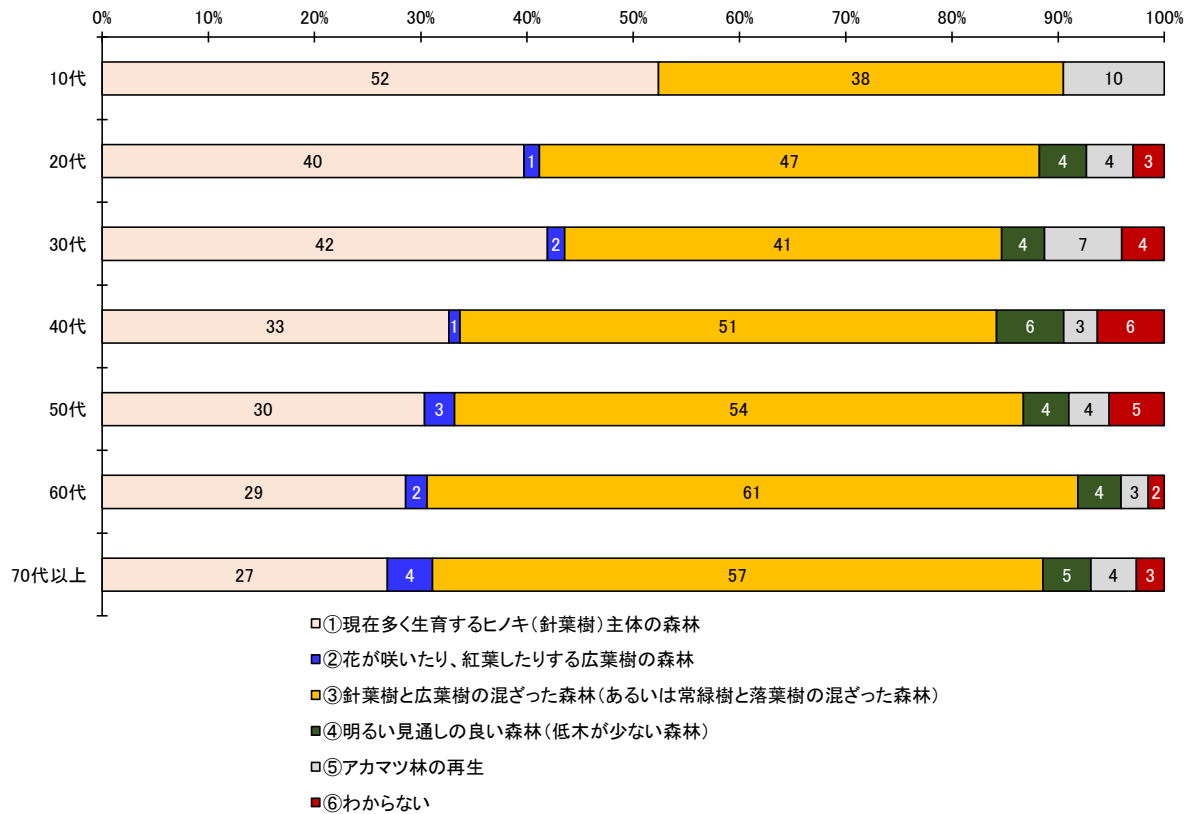


図 2-33 「理想とする森林のイメージ」の年代別回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% にならない区分あり。

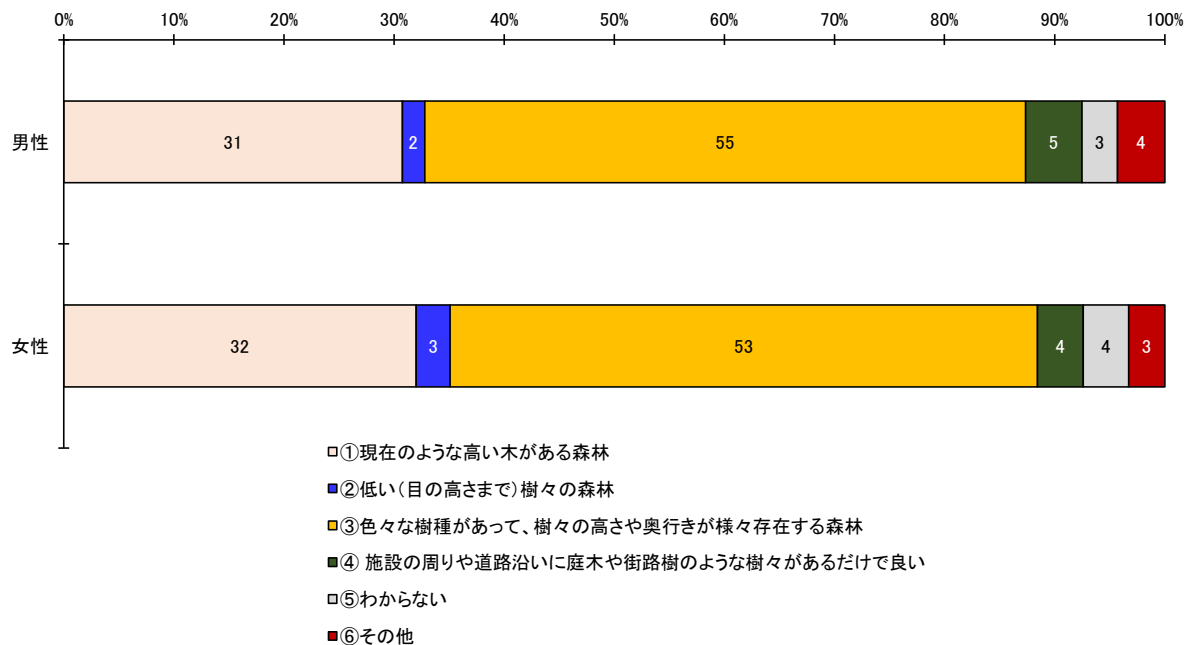


図 2-34 「理想とする森林のイメージ」の性別回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% にならない区分あり。



問 10

問 10 大芝高原について、今後どのような森林として活用したいかお答えください。該当する選択肢に○を付してください。(複数回答可)

- ① 散策（セラピーロード）ができる森林
- ② マレットゴルフやボール遊び、鬼ごっこなどの運動や遊びができる森林
- ③ 村民参加で植樹祭（木を植える）や育樹祭（枝を払ったり、灌木を除去）行う森林
- ④ こどもから大人まで様々な学びの場となる森林
- ⑤ 自然（植物や動物、昆虫、野鳥）を観察できる森林
- ⑥ 木材生産をする森林（村の財源になるような林業活動を行う森林）
- ⑦ 特にない
- ⑧ その他（具体的に： ）

2,308 回答（表 2-16）、その割合は図 2-35 であった。

「⑦その他」の回答は 35 者あり、31 者より具体的内容の記載があった。

表 2-16 森林の活用についての回答数

① 散策（セラ ピーロード）がで きる森林	② マレットゴ ルフやボ ール遊 び、鬼ご っこの 運動や遊 びがで きる森林	③ 村民参加 で植樹祭 （木を植 える）や育 樹祭（枝を 払ったり、 灌木を除去） 行う森林	④ こどもから 大人まで 様々な学 びの場と なる森林	⑤ 自然（植物 や動物、 昆虫、野 鳥）を観 察できる 森林	⑥ 木材生産 をする森 林（村の 財源にな るような 林業活動 を行う森 林）	⑦ 特にな い	⑧ その他	合計
636	317	157	476	526	117	44	35	2,308

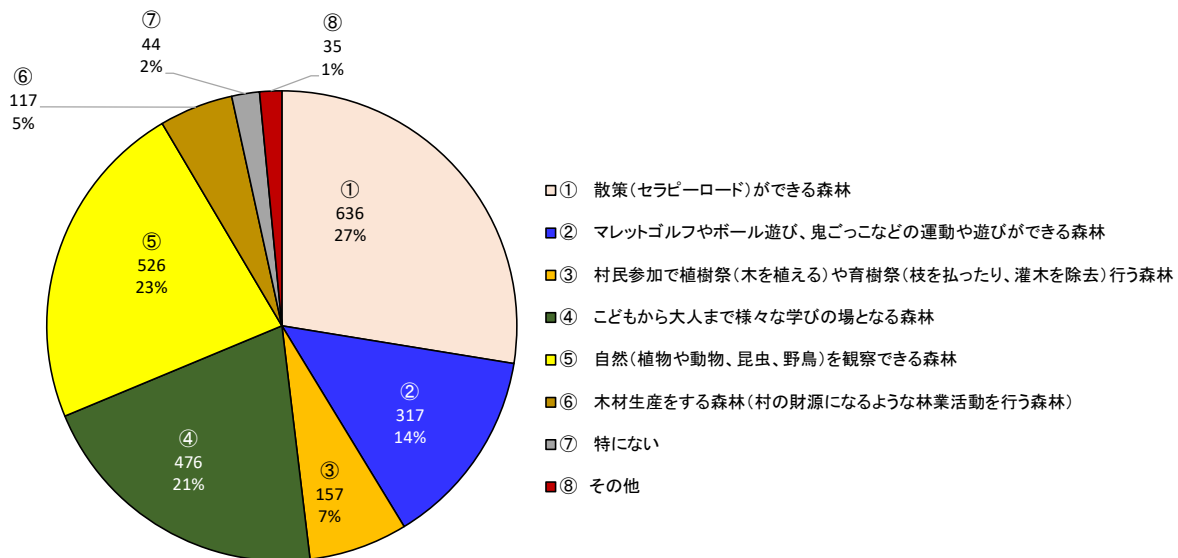


図 2-35 森林の活用についての回答割合



【その他記載回答】

- 60 数年前の頃セラピーロード帯は低い樹木が一面に繁る場所で公園内はもちろん、大型農道も未整備の細い砂利道であったと記憶している。現在は村外からも多数の方が訪れる場所となっているので、明るく多様性のある公園をめざしていただきたい
- ドッグランがほしい、犬と遊ぶ場所がほしい
- 広大なドッグラン
- なるべく虫がいない方がいい
- ヨガ・ハンモックで昼寝
- 日影でピクニックしたい
- 運動のできる施設がもっと欲しい
- 音楽フェスなどのイベント利用
- 学校教育での活用充実。子供による伐採と活用も／生き物の生息環境整備／子供が森に来たくなる工夫を
- 環境教育活動、カーボンクレジットとして活用
- 観光地
- 観光名所
- 気楽に気軽にゆっくりできる場所になるといい。自慢できるといい
- 犬の散歩の方々が多くなったと思う。人がゆっくり散歩できるように別々のロードほしい
- 子供から大人まで森の中で遊べる木や起伏など自然を活かしたプレーパーク
- 子供が虫取りできる所が少ないので、自由に入れると良い
- 孫が毎週行ってる。子供達が安心・安全に楽しめる所
- 樹木や森を対象とした写生大会、フォトコン
- 春は自然豊かな大芝桜に温泉に秋は鮮やかな楓に紅葉狩り、散策に風呂です
- 松茸がとれるような松林に一部分残してつくるのはどうか。たのしめる大芝であってほしい
- 森林で芸術鑑賞できたらいい。例えば室内楽、あるいはジャズなどの小規模コンサートあるいは薪能や芝居など
- 薪ストーブ使用が多くなって来ている気がするので薪として村民に与えて欲しい
- 生産林とレクリエーション林を分けずに融合出来たら素敵
- 生物多様性にとんだ森林
- 体験型の木材加工の工場を作り、手頃の価格の製品を作って販売したり、体験したりする施設を造る
- 大芝公園は公園としては素晴らしいが、今のままでは観光地にはなりえない。コンサートやイベントができるエリアをつくるなど、他の地域から人を呼べる所にする。森の中で人がつどえる所になればいい。「富士山樹空の森」のような
- 木が多く、高いのでちょっと怖い、駐車場が遠い
- 落葉を農業に利用したい
- 蓼科とかに見に行ってほしい。しっかり森林が整備されている。アカマツの被害に関係なくもっと伐採していい
- 室内スペース希望
- 森林ばかりが主にならないように整備するべき！！

年代別の「森林の活用について」についての回答割合は図 2-36、性別の割合は図 2-37 であった。

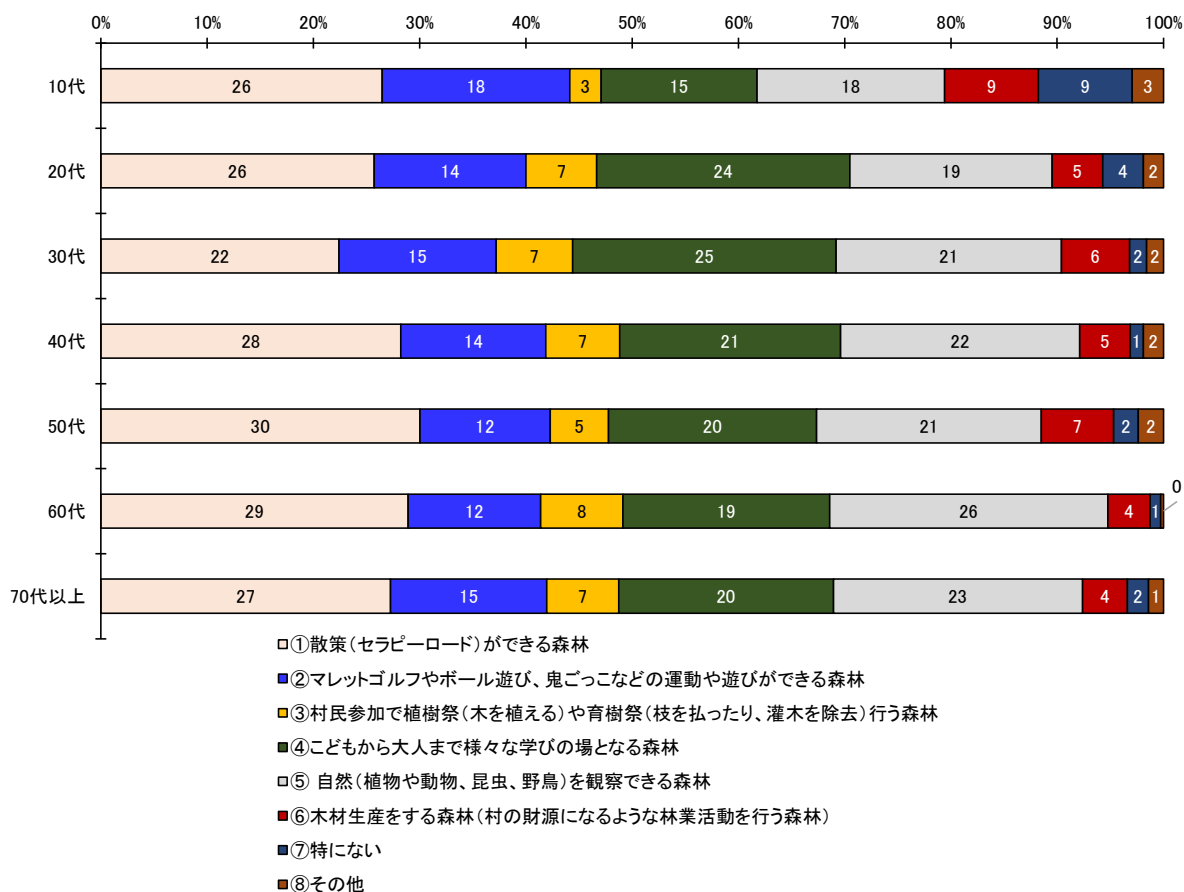


図 2-36 「森林の活用について」の年代別回答割合

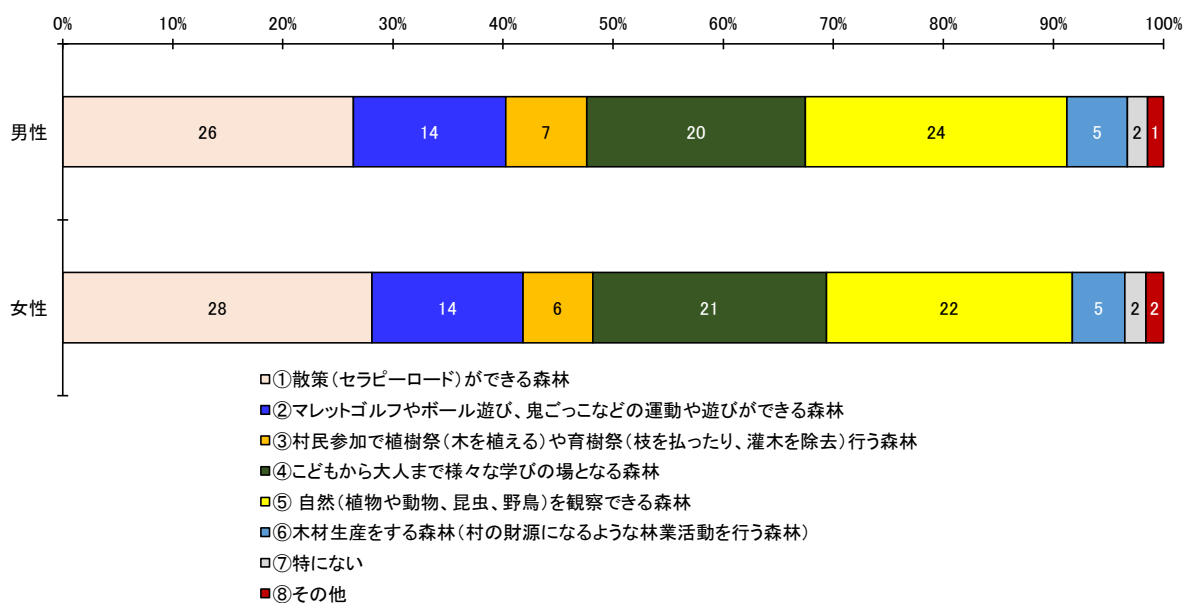


図 2-37 「森林の活用について」の性別回答割合

※少数第一位四捨五入により割合が 100% にならない区分あり。



(5) 意見欄 (自由意見)

問 1 1

問 11 大芝高原の森林についてご意見があれば下記に記載してください。(自由意見です)

【ご意見】

① 意見数

362 者からの意見があった。年代別の自由意見割合は図 2-38、性別の割合は図 2-39 であった。

なお、自由意見については本書に記載しない。

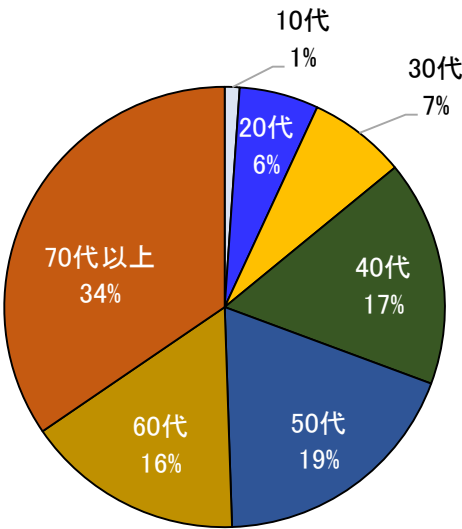


図 2-38 年代別の自由意見割合

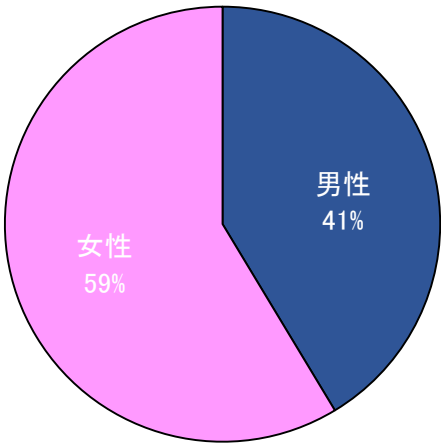


図 2-39 性別の自由意見割合

② 意見内容 (区分)

362 者から総数 464 意見があり、「森林・林業」に関すること、「みんなの森・セラピーロード」に関すること、「その他意見」に区分すると、「森林・林業」に関する意見が 49%、「みんなの森・セラピーロード」に関する意見が 17%、「その他意見」が 34%であった (図 2-40)。

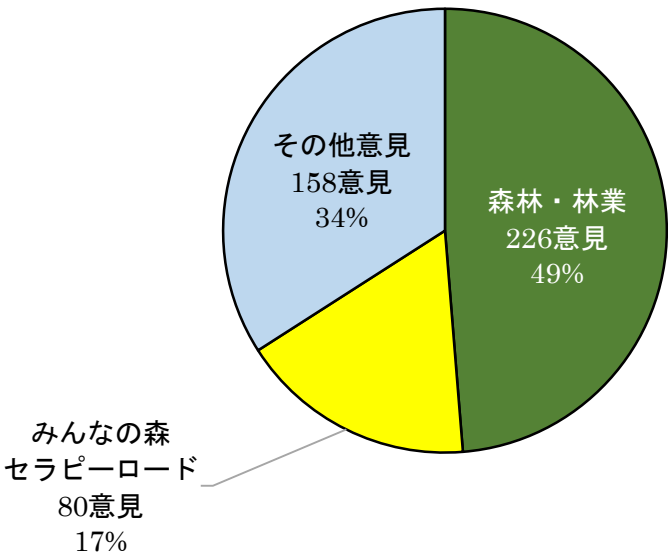


図 2-40 「森林・林業」・「みんなの森・セラピーロード」・「その他意見」の割合



年代別では、20代に「その他意見」が多く、他の年代は「森林・林業」に関する意見が多かった（図 2-41）。

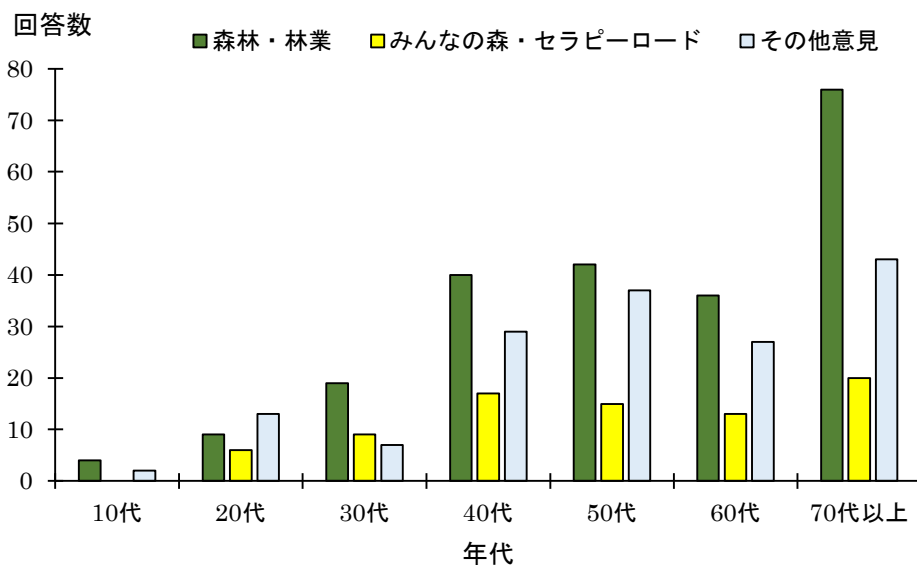


図 2-41 年代別の「森林・林業」・「みんなの森・セラピーロード」・「その他意見」の意見数

③ 短期課題・中長期課題及び感想

意見について、「短期的に検討（対応）すべき課題」と「中長期的に検討すべき課題」及び「感想」に区分した。「短期的に検討（対応）すべき課題」が 31%、「中長期的に検討すべき課題」が 49%、「感想」が 20%であった（図 2-42）。

- ☛ 「短期的に検討（対応）すべき課題」は、「伐採した木材を活用し、小中学生のものづくり体験にあてたり、工芸品として利用し、訪れて頂いた村外の方の思い出の品になるようなものに使えたら楽しそうだと思います。」や「被害木の処理は急いで、植樹はゆっくり計画的に！」など
- ☛ 「中長期的に検討すべき課題」は「松くい虫の問題は対策が必要と思いますが、大芝高原はなるべく自然の（従来の）形で残すべきと思います。なんやかやと手を入れすぎたと思います。必要かつ最低限の保全でいいのでは。」や「村民の皆さんの声を反映した森林公園を作ってください」など
- ☛ 「感想」は「アカマツが減少するとまっくんはどうなるのでしょうか？」や「森は地球温暖化防止や異常気象防止のため重要な役割であることがわかってきた。村の財産である森は将来にわたり南箕輪村民がいつまでも健康であるため利用・活用されるべきである」など

全年代とも中長期的課題の回答数が多く、30代は「短期的課題」と「中長期的課題」が同数であった（図 2-43）。

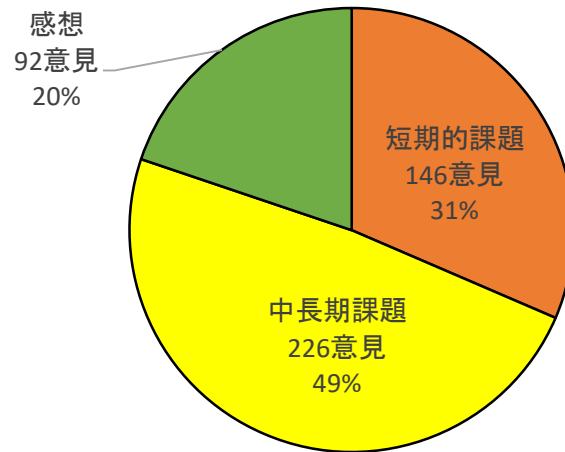


図 2-42 「短期的に検討（対応）すべき課題」、「中長期的に検討すべき課題」及び「感想」の割合

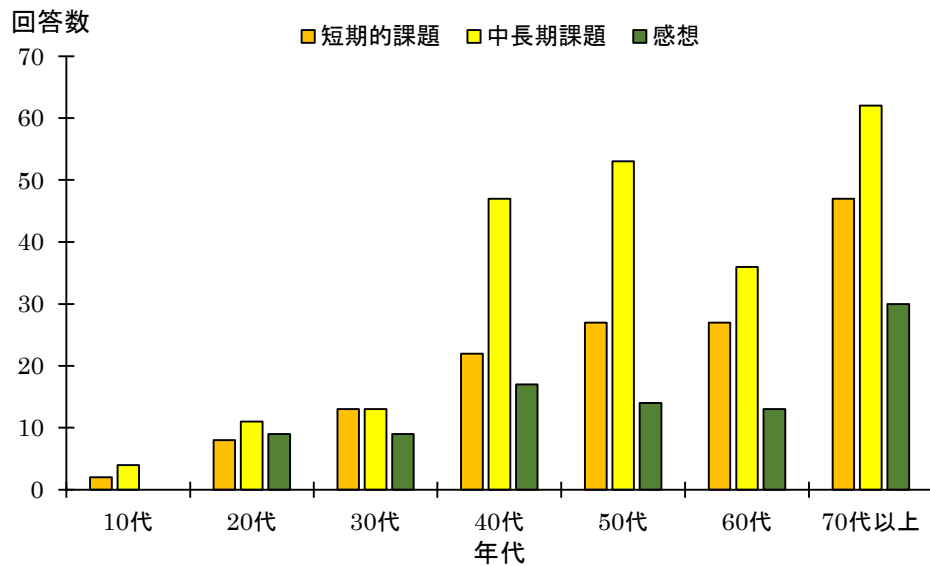


図 2-43 年代別「短期的に検討（対応）すべき課題」、「中長期的に検討すべき課題」及び「感想」の意見数



【参 考】

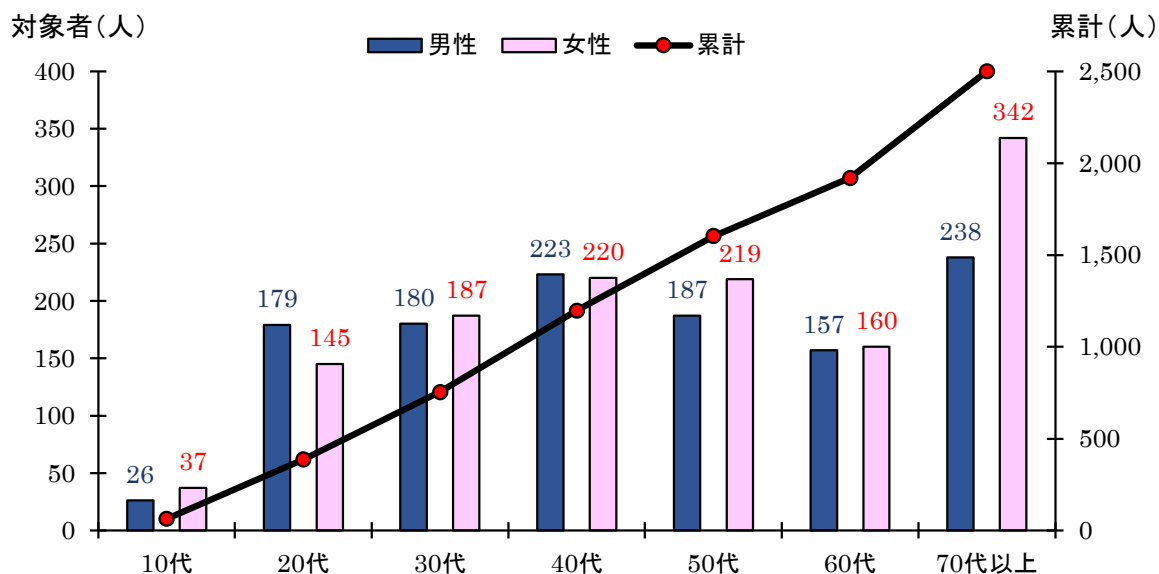


図. 年代及び性別のアンケート対象者数（無作為抽出）

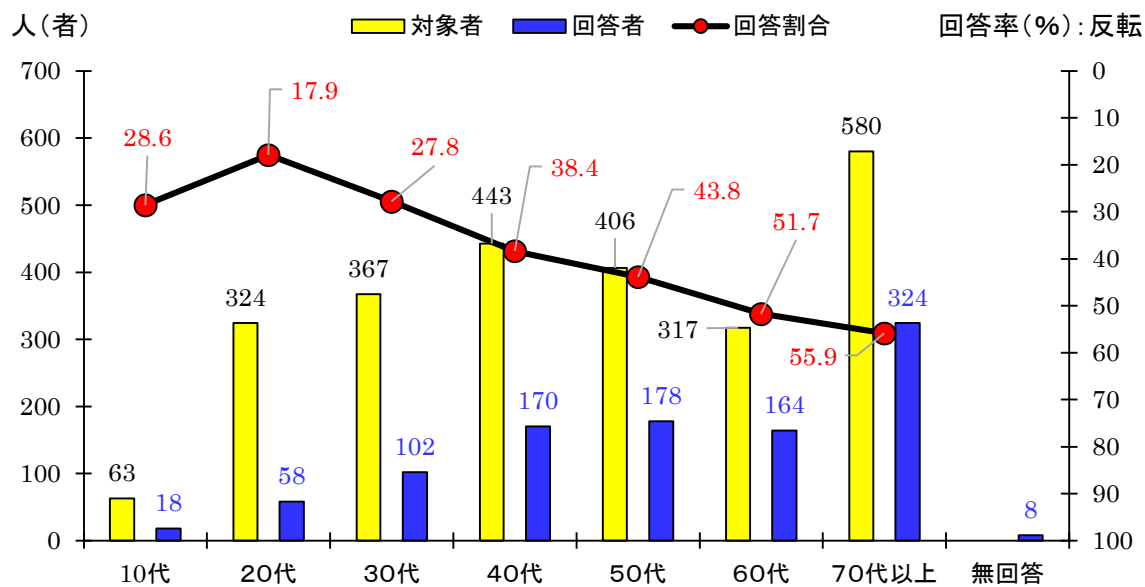


図. 年代別のアンケート対象者数と回答者数及び回答割合